

下水道施設標準構造図集

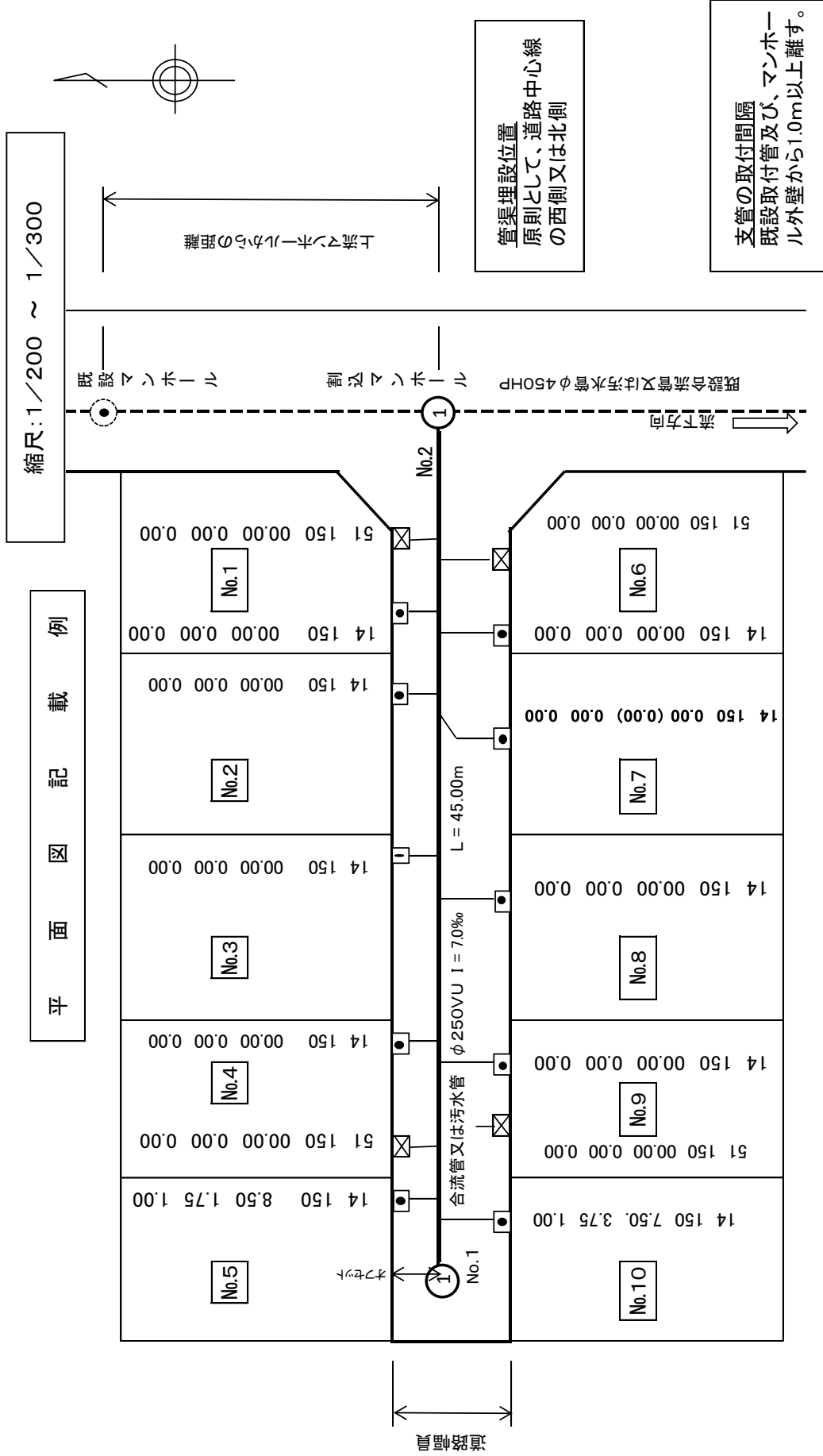
(下水道法第16条申請用)

小平市環境部下水道課

令和6年4月改定

目 次

平面図記載例	1
縦断面図記載例	2
提出図面見本（台帳補正用平面図、白抜宅地区画案内図）	3
マンホール標準構造図（組立0号）	4
マンホール標準構造図（組立1号）	5
マンホール標準構造図（楕円組立1号 内法60cm×90cm）	6
マンホール鉄蓋・鉄柵標準構造図（合流用・T-25）	7
マンホール鉄蓋・鉄柵標準構造図（合流用・T-14）	8
マンホール鉄蓋・鉄柵標準構造図（分流汚水用・T-25）	9
マンホール鉄蓋・鉄柵標準構造図（分流汚水用・T-14）	10
マンホール鉄蓋・鉄柵標準構造図（公共雨水用・T-25）	11
マンホール鉄蓋・鉄柵標準構造図（公共雨水用・T-14）	12
ロック付き転落防止梯子標準設置図	13
ロック付き転落防止梯子標準構造図	14
硬質塩化ビニル管標準構造図	15
硬質塩化ビニル管ソケット標準取付図	16
内副管取付標準構造図（1号用φ250×200）	17
内副管取付標準構造図（1号用φ200×150）	18
マンホールインバート標準施工図	19
山留工標準図	20
L形用公共汚水ます標準図（合流・小口径ます用）	21～23
縁塊底版部標準施工図（合流用）、L形用公共ます縁塊用底版標準図	24
L形用公共汚水ます標準図（分流汚水・小口径ます用）	25～27
縁塊底版部標準施工図（分流汚水用）、L形用公共ます縁塊用底版標準図	28
小口径公共汚水ます標準図（合流用）	29～34
小口径公共汚水ます標準図（分流汚水用）	35～39
L形用公共汚水ます標準図（底部有孔）、取付管の離隔、支管標準取付図	40
小口径公共汚水ます用防護ふた標準図	41～42
取付管撤去閉塞標準施工図	43
取付管の構造物下越し標準施工図、埋戻し転圧要領	44



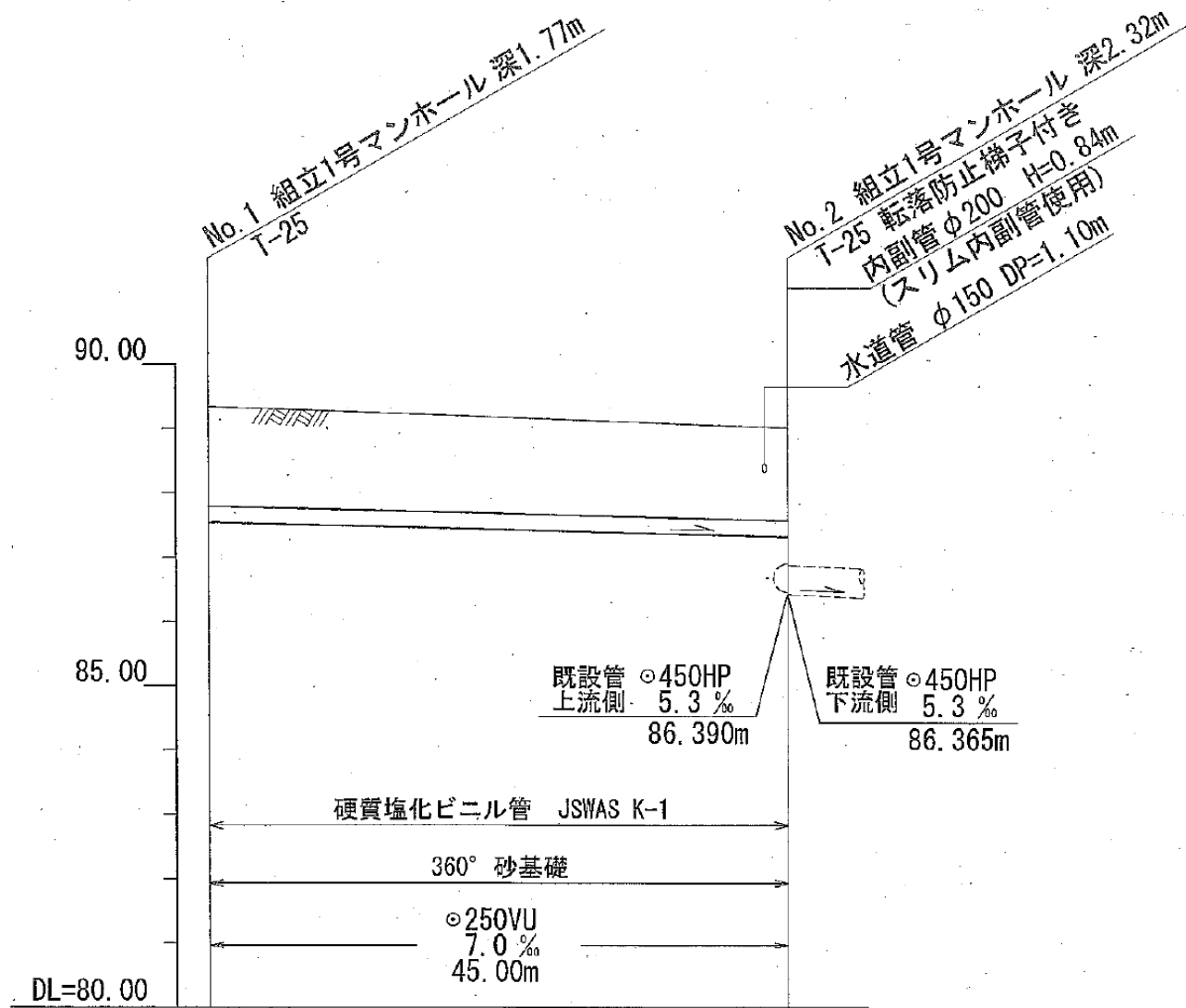
平面図記載例

* 完成平面図の公ます設置位置付近に、下記数値情報を記載すること。

14	150	11.50	(12.00)	3.75	1.00
ます種別	取付管径	上流マンホールからます位置	上流マンホールから支管位置	取付管平面延長	ます深さ

(ます位置と支管位置が異なる場合に記載する)

縦断面図記載例



地盤高 (m)	89.31	88.96
土被り (m)	1.51	1.48 2.09
管底高 (m)	87.542	87.227 86.385
単距離 (m)	0.00	45.00
追加距離 (m)	0.00	45.00
測点	No. 1	No. 2

提出図面見本

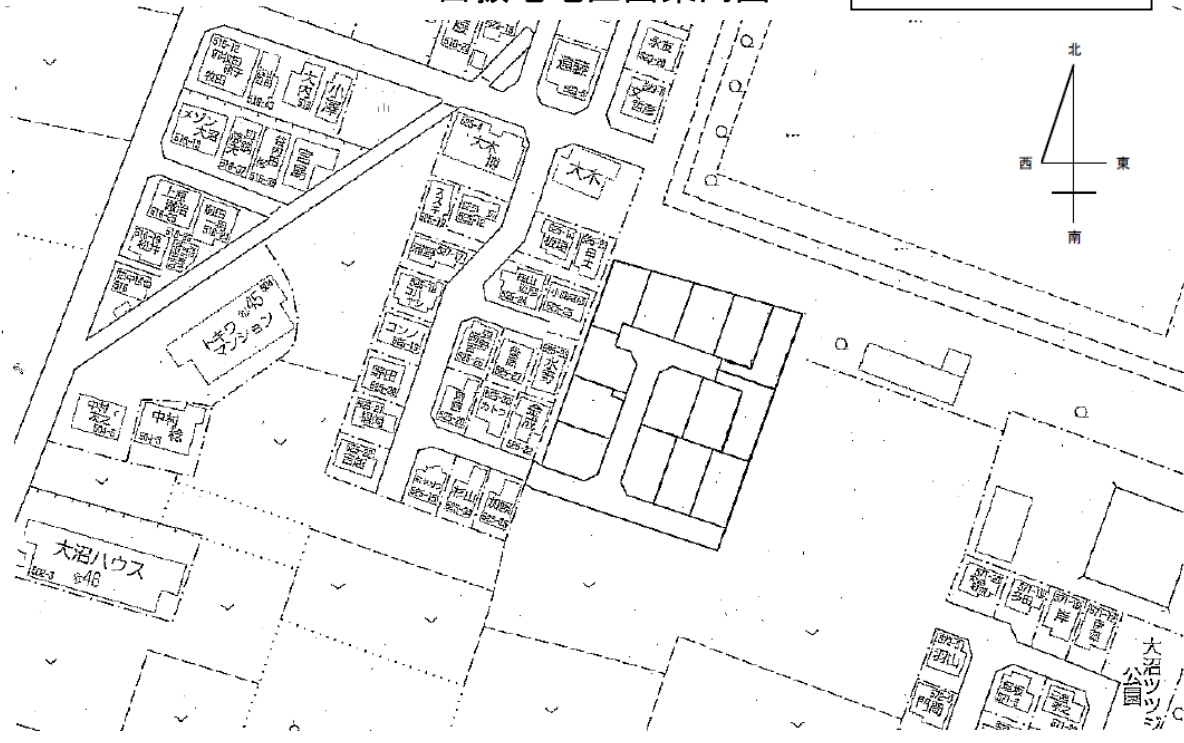
台帳補正用平面図

縮尺: 1/500



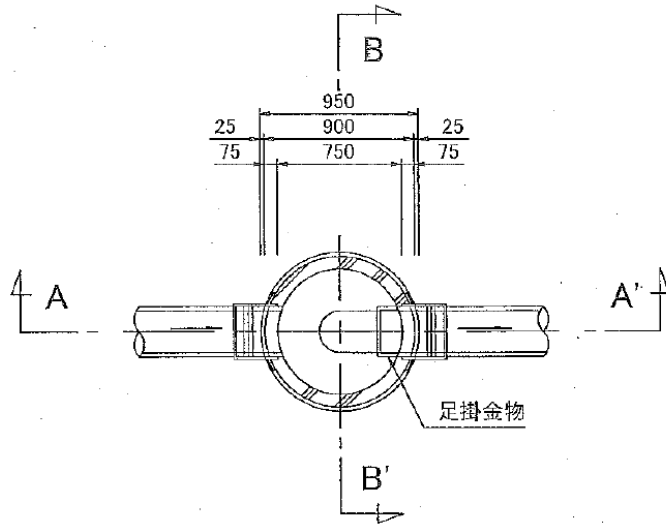
白抜宅地区画案内図

縮尺: 1/1500

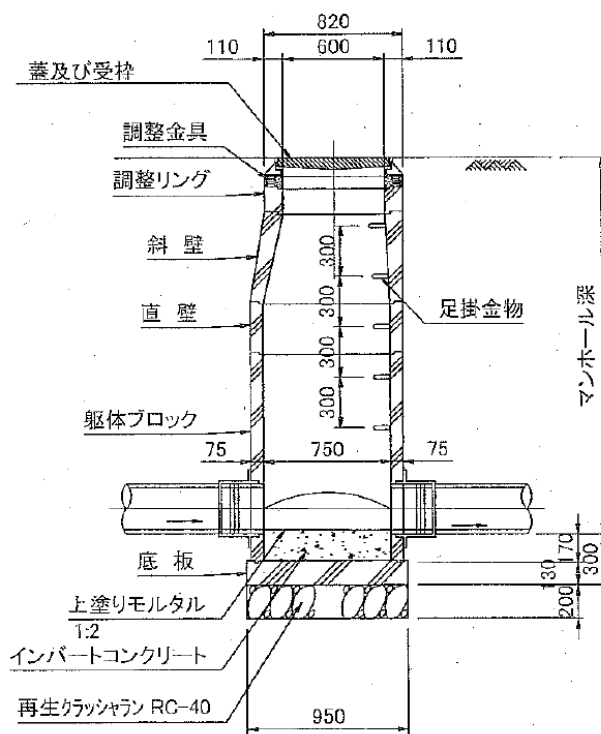


マンホール標準構造図 (組立0号)

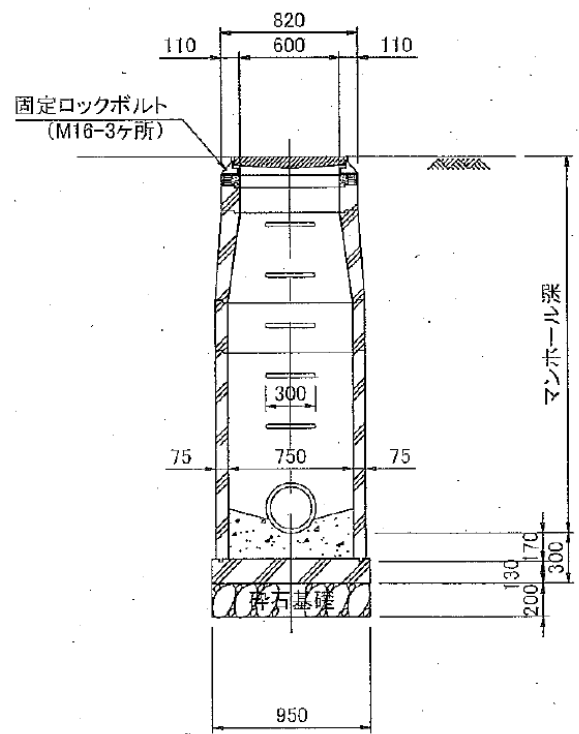
平面図



A-A' 断面図

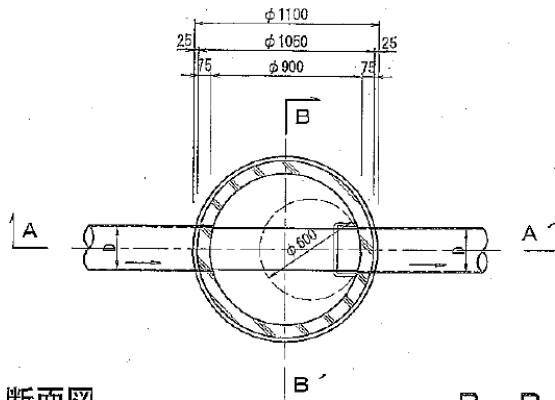


B-B' 断面図

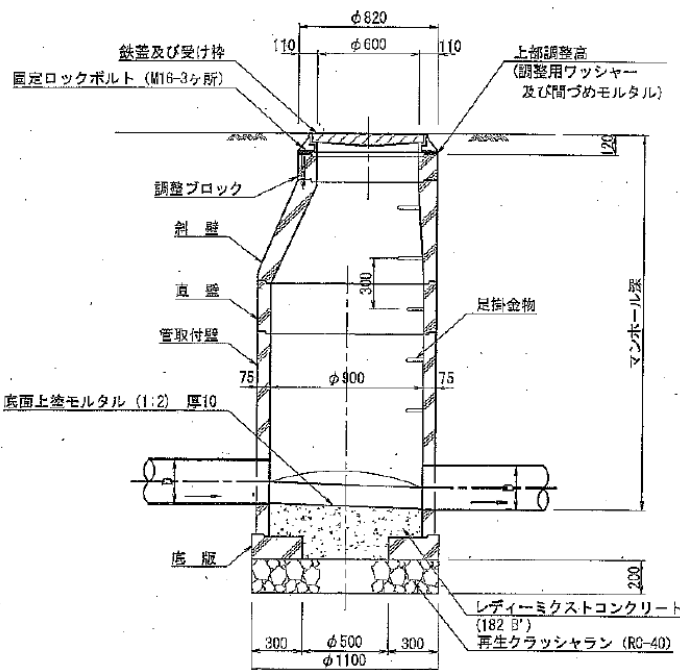


マンホール標準構造図 (組立1号)

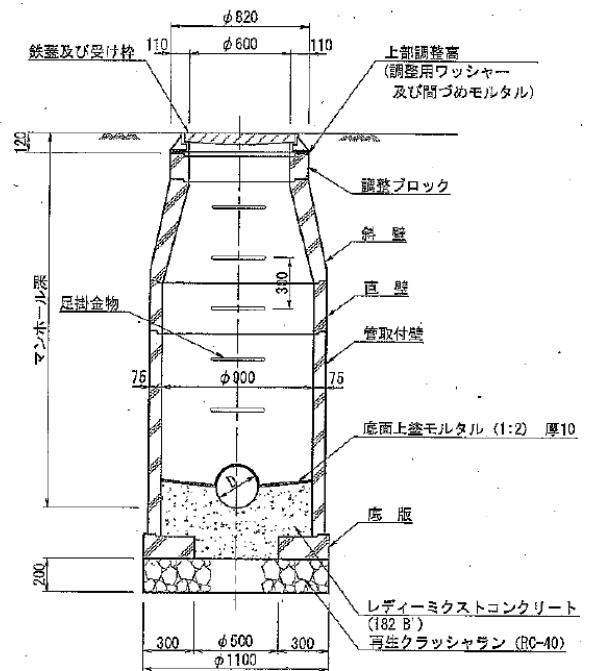
平面図



A-A' 断面図



B-B' 断面図



マンホール施工上の注意事項

【足掛け金物の取付位置と間隔】

1 位置について

下流管の内径 400mm 以下の場合：下流管の上端

下流管の内径 450mm 以上の場合：下流管に向かって左側

※ただし、流入管（予定管も含む）がある場合は下流に向かって右側または流入管のない側

2 間隔について

通常の間隔は 30cm、ただし上部と下部は原則として最大 40cm 以内とする。

(1) 上部とは・・・受枠継ぎ目の足掛けと、斜壁上部の足掛け金物との間隔

(2) 下部とは・・・①直壁最下段の足掛け金物と、下流管の管頂までの間隔（下流管の上に付ける場合）

②直壁最下段の足掛け金物と、インバートまでの間隔（下流管の上に付けない場合）

③足掛け金物の各区間の許容値は±10mm とする。

④この基準は、現場打ちマンホール及び組立マンホールに適用する。

【ロック付転落防止梯子について】

マンホール深が 2.0m 以上の場合は、転落防止梯子を設置する。

【インバートについて】

1 インバートの高さは、下流管径の 1/2 とし最高 500mm までとする。

2 インバートの縦断勾配は、下流管勾配とする。

3 インバートの幅は、下流管幅に合わせ均一とする。

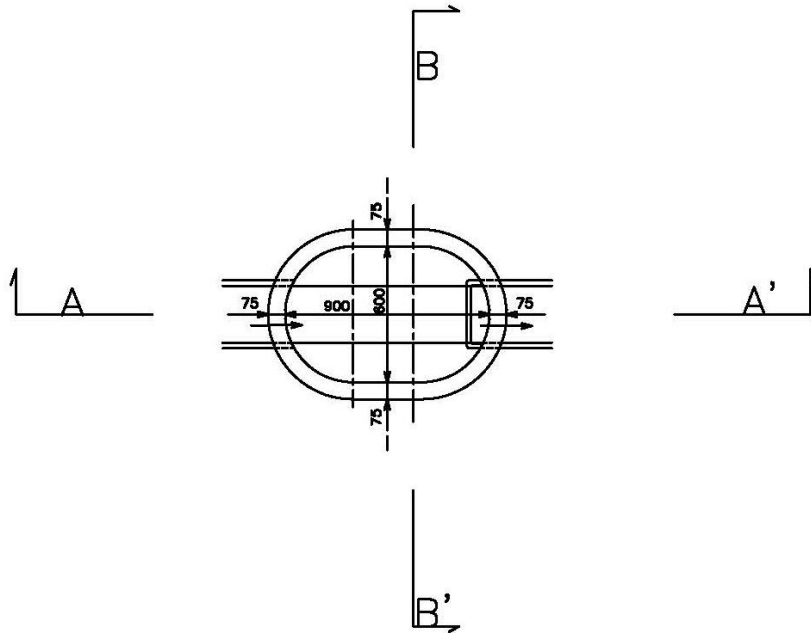
4 起点マンホールのインバートは、マンホール内の端部までストレートとする。

【副管について】

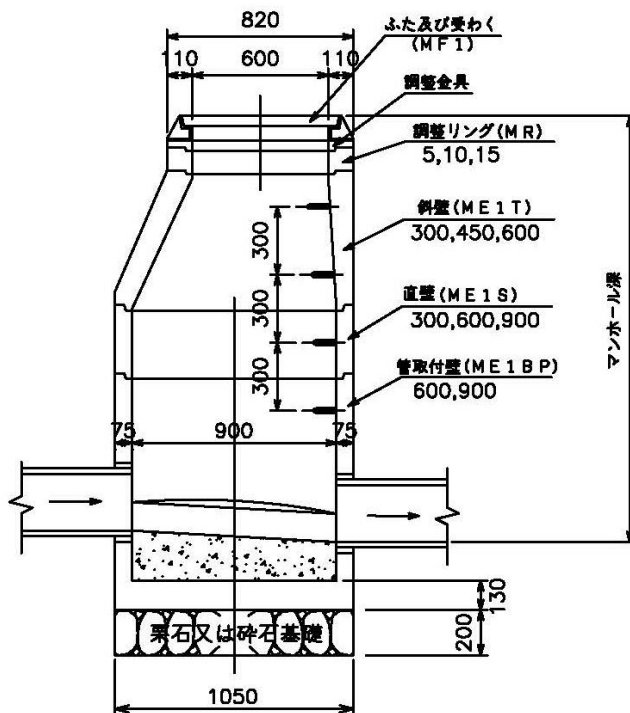
副管は本管管底差（上流と下流の管底差）が、60cm 以上の場合に設置する。

マンホール標準構造図（楕円組立1号 内法 60cm×90cm）

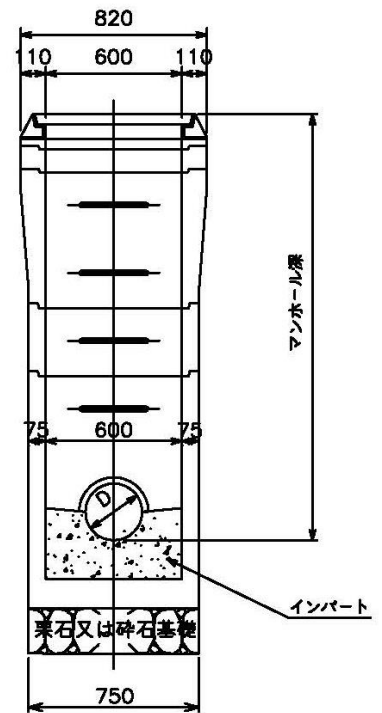
平面図



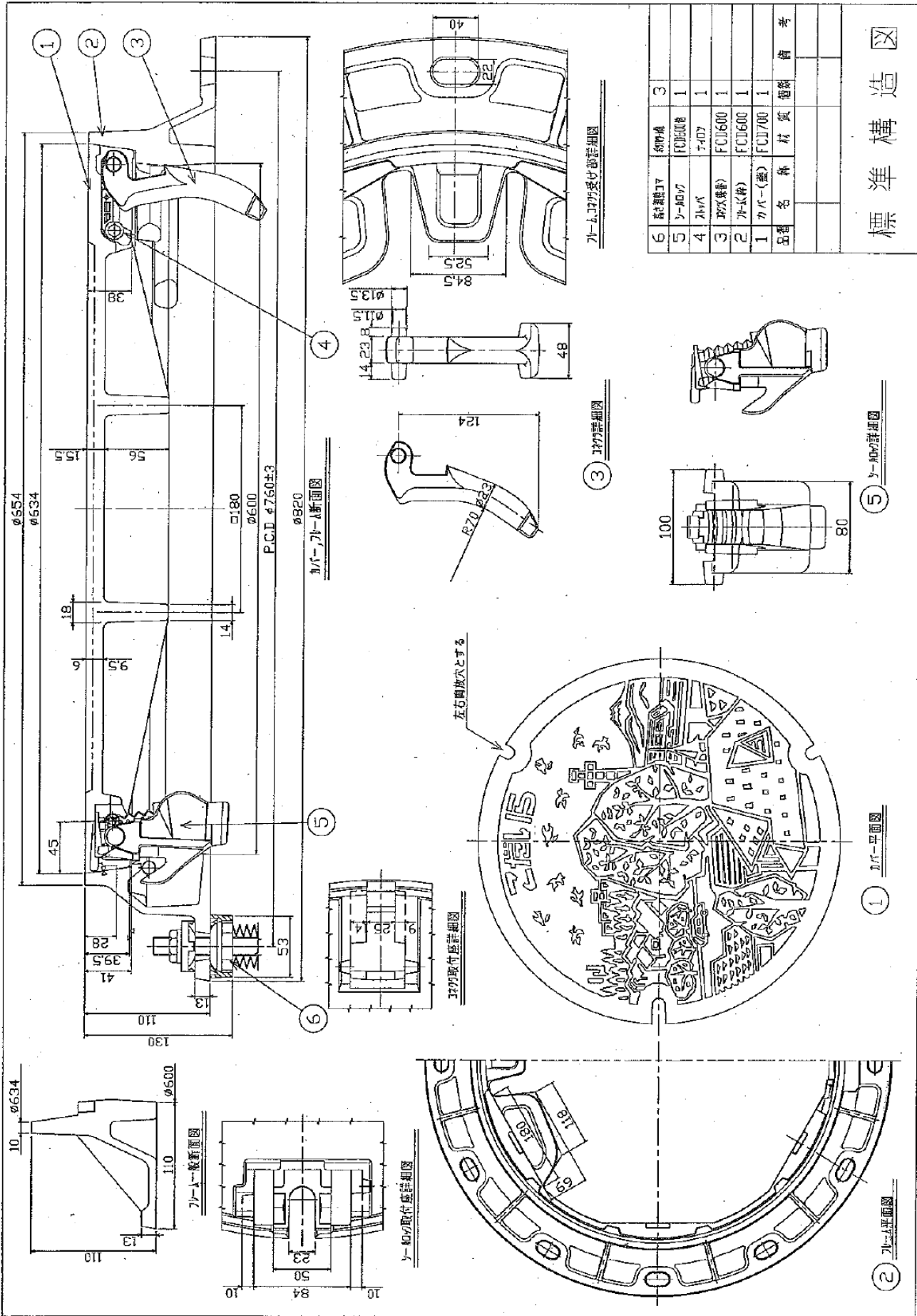
A-A'断面図



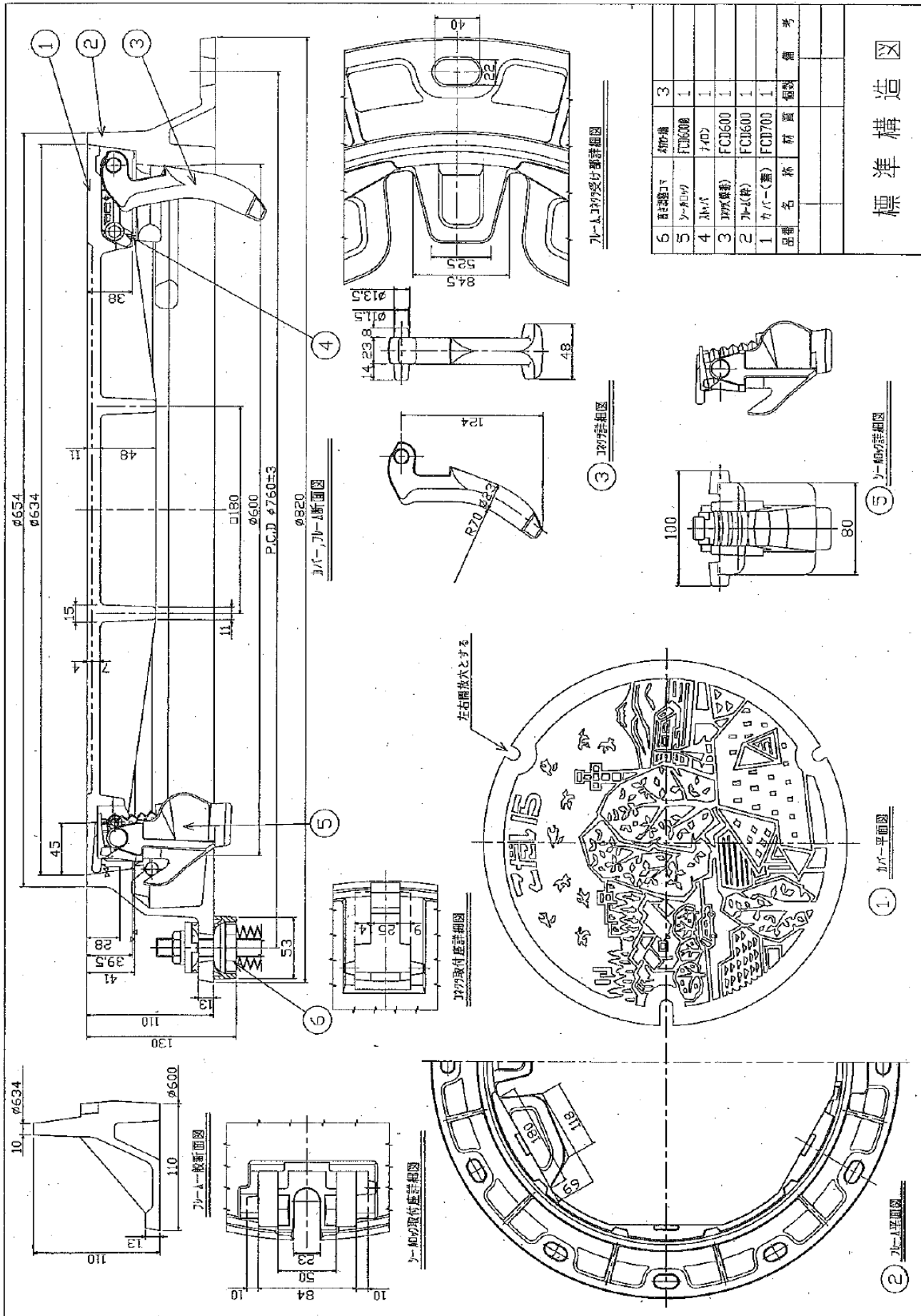
B-B'断面図



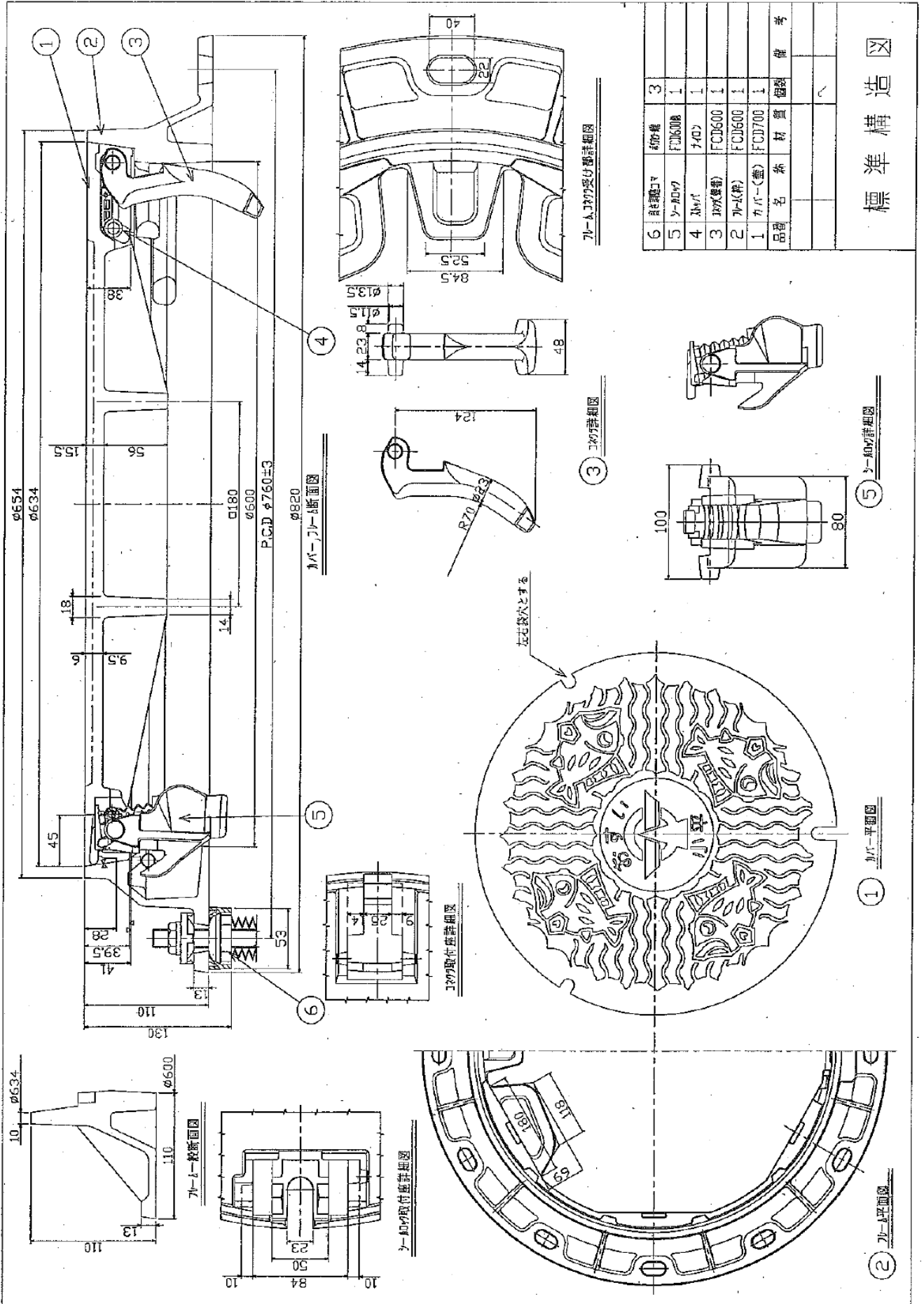
マンホール鉄蓋・鉄枠標準構造図 (合流用・T-25)



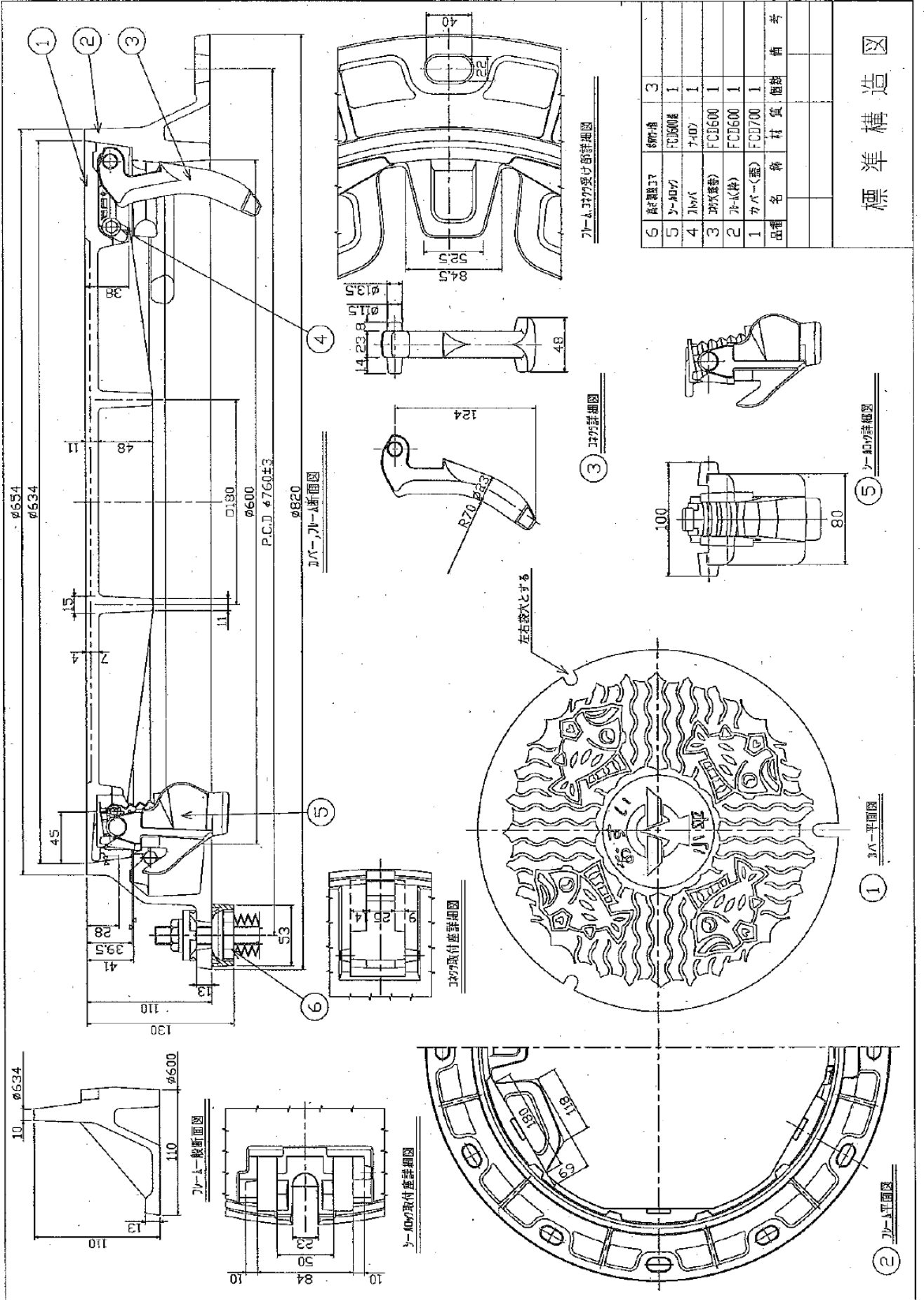
マンホール鉄蓋・鉄枠標準構造図(合流用・T-14)



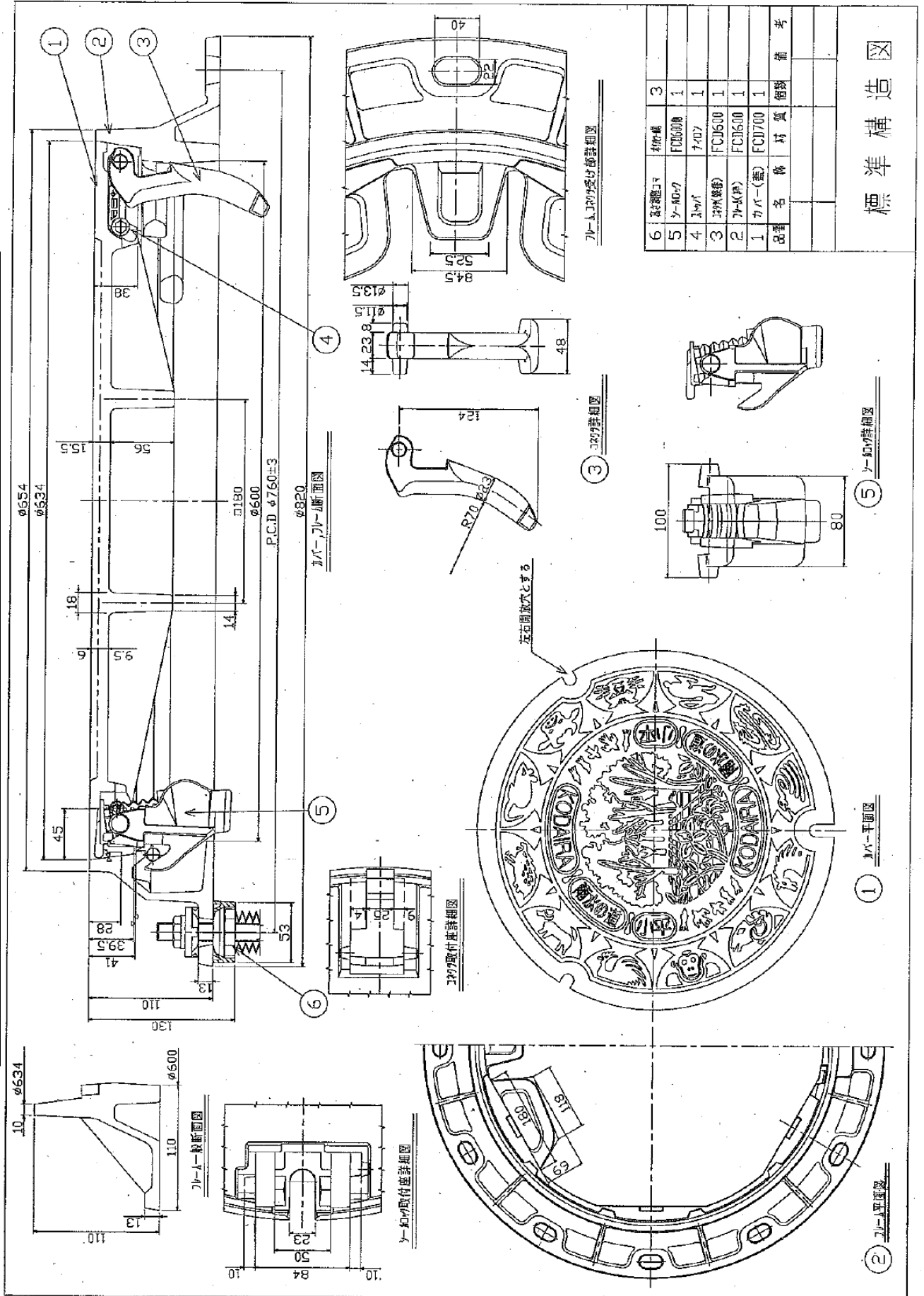
マンホール鉄蓋・鉄枠標準構造図 (分流污水用・T-25)



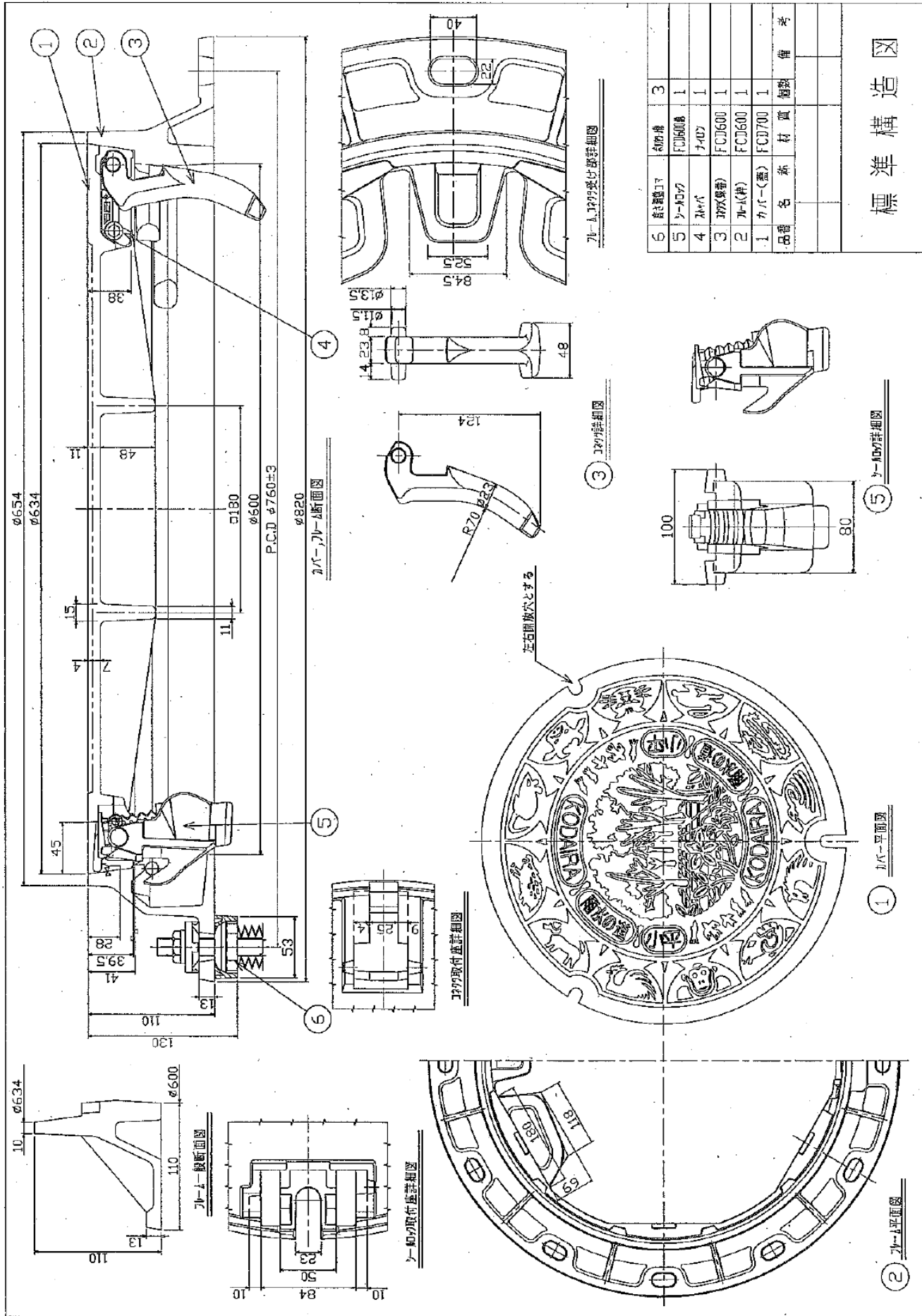
マンホール鉄蓋・鉄枠標準構造図 (分流污水用・T-1 4)



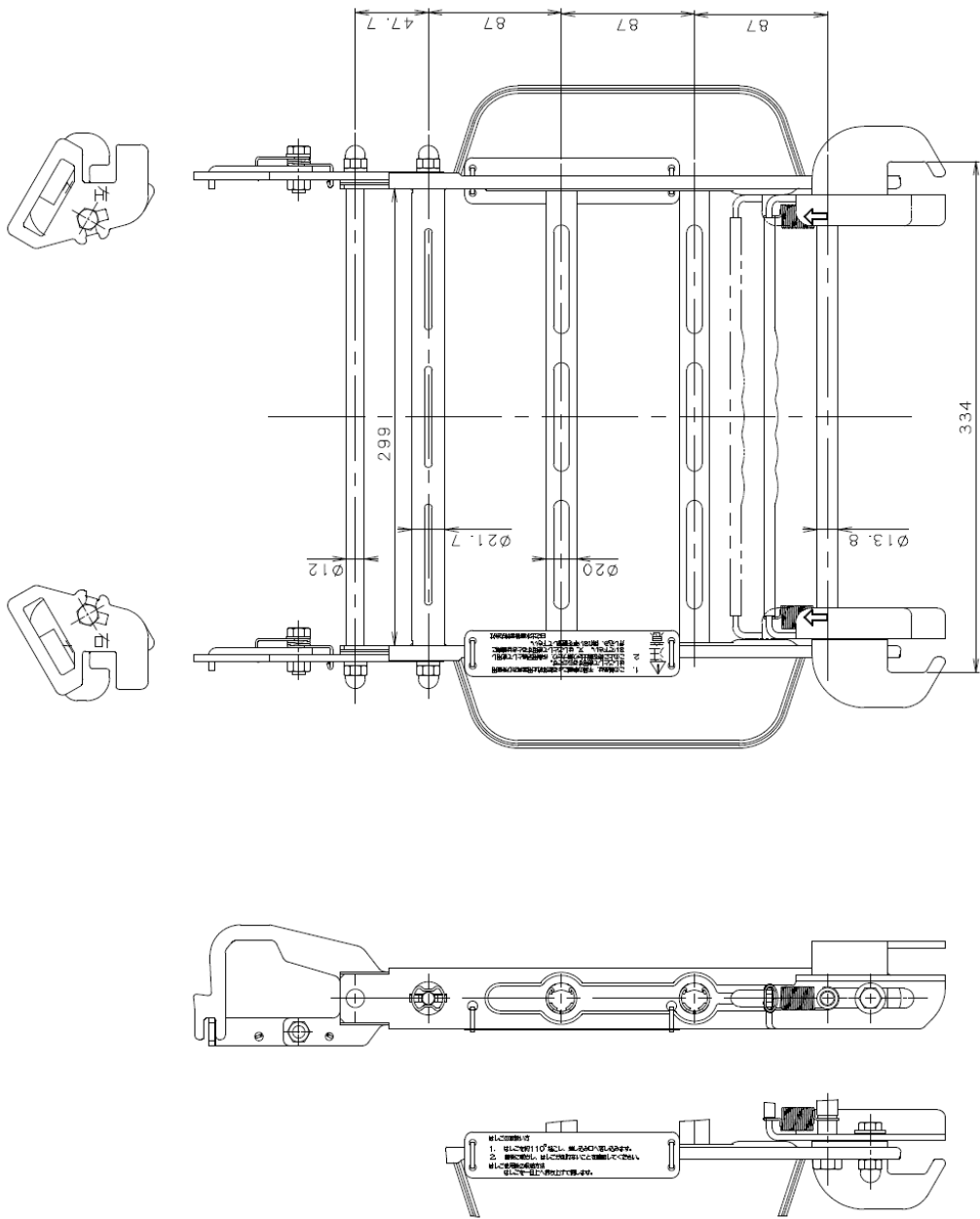
マンホール鉄蓋・鉄枠標準構造図 (公共雨水用・T-25)



マンホール鉄蓋・鉄枠標準構造図 (公共雨水用・T-14)



ロック付き転落防止梯子標準構造図



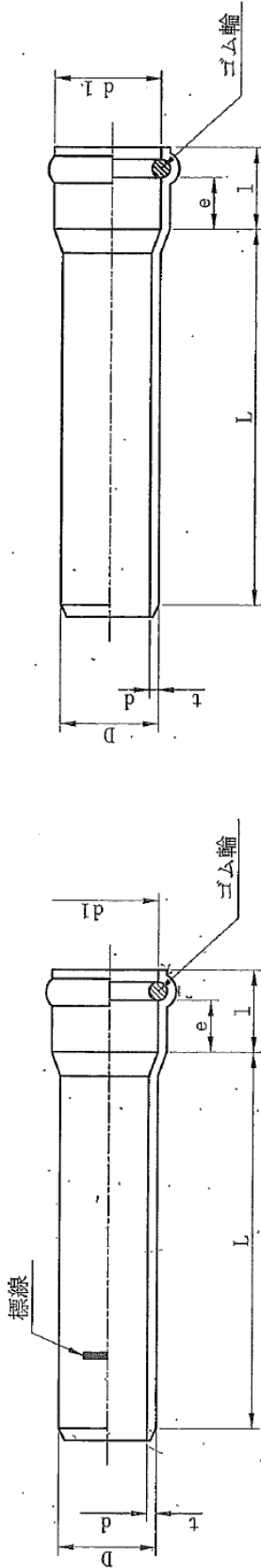
品名	セーフティ梯	材質	SUS304	個数		備考
設計	図	番		尺	度	年月日
型式	セーフティラダー SL-S3Y					
品名						

硬質塩化ビニル管標準構造図

(JIS K6741、JSWAS K-1)

本管形 (略号 SRA)

取付管形 (略号 SRB)



受口形状	呼び径	内径 d	長さ		外径		厚さ		受口		参考質量 Kg/	
			L	許容差	D	許容差	t (最少)	許容差	受口内	受口長さ		
本管形 SRA	200	202.0	4,000	±15	216.0	±0.7	6.5	+1.0	216.9	54	185	27.8
	250	250.2			267.0	±0.9	7.8	+1.2	268.1	59	205	41.3
	300	298.2			318.0	±1.0	9.2	+1.4	319.3	62	225	58.4
	350	347.6			370.0	±1.2	10.5	+1.4	371.5	67	240	77.3
	400	394.8			420.0	±1.3	11.8	+1.6	421.7	72	260	99.3
	450	441.8			470.0	±1.5	13.2	+1.8	471.9	77	285	125.3
取付管形 SRB	500	488.8	800 4,000	±15	520.0	±1.6	14.6	+2.0	522.1	82	305	154.2
	600	591.6			630.0	±3.2	17.8	+2.8	633.8	93	355	233.2
	150	154			165	±0.5	5.1	+0.8	166.0	58	108	3.7
					202	±0.7	6.5	+1.0	218.0	69	126	16.2
	200	202			216	±0.7	6.5	+1.0	218.0	69	126	6.4
					277	±0.7	6.5	+1.0	218.0	69	126	27.7

注1 ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。

2 ゴム輪の品質は、JIS K6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したもおを使用する。

3 受口内計d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

4 外径Dとは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値をいう。

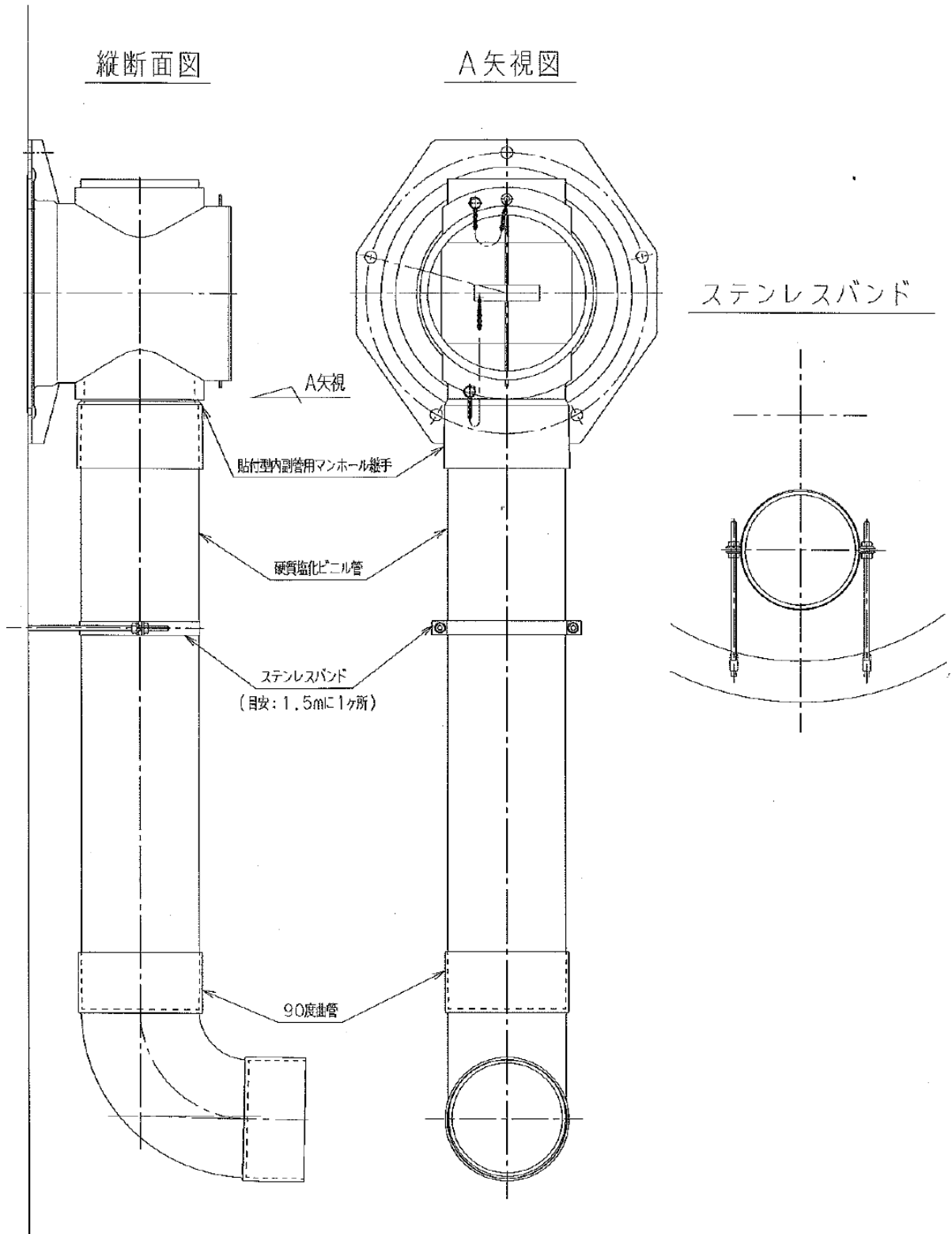
5 管を切断して使用する場合は、硬質塩化ビニル(VU)ブレンエンド直管詳細図に掲載した面取りを行うこと。

硬質塩化ビニル管ソケット標準取付図

(JIS K 6741、JSWAS K-1)

		本管が陶管または鉄筋コンクリート管の場合		本管が硬質塩化ビニル管の場合	
		①管に穿孔環で削孔して取り付ける場合		②枝付管の場合 (陶管)	
取付角度 60°の場合					
取付角度 90°の場合					
接合詳細 (参考)					

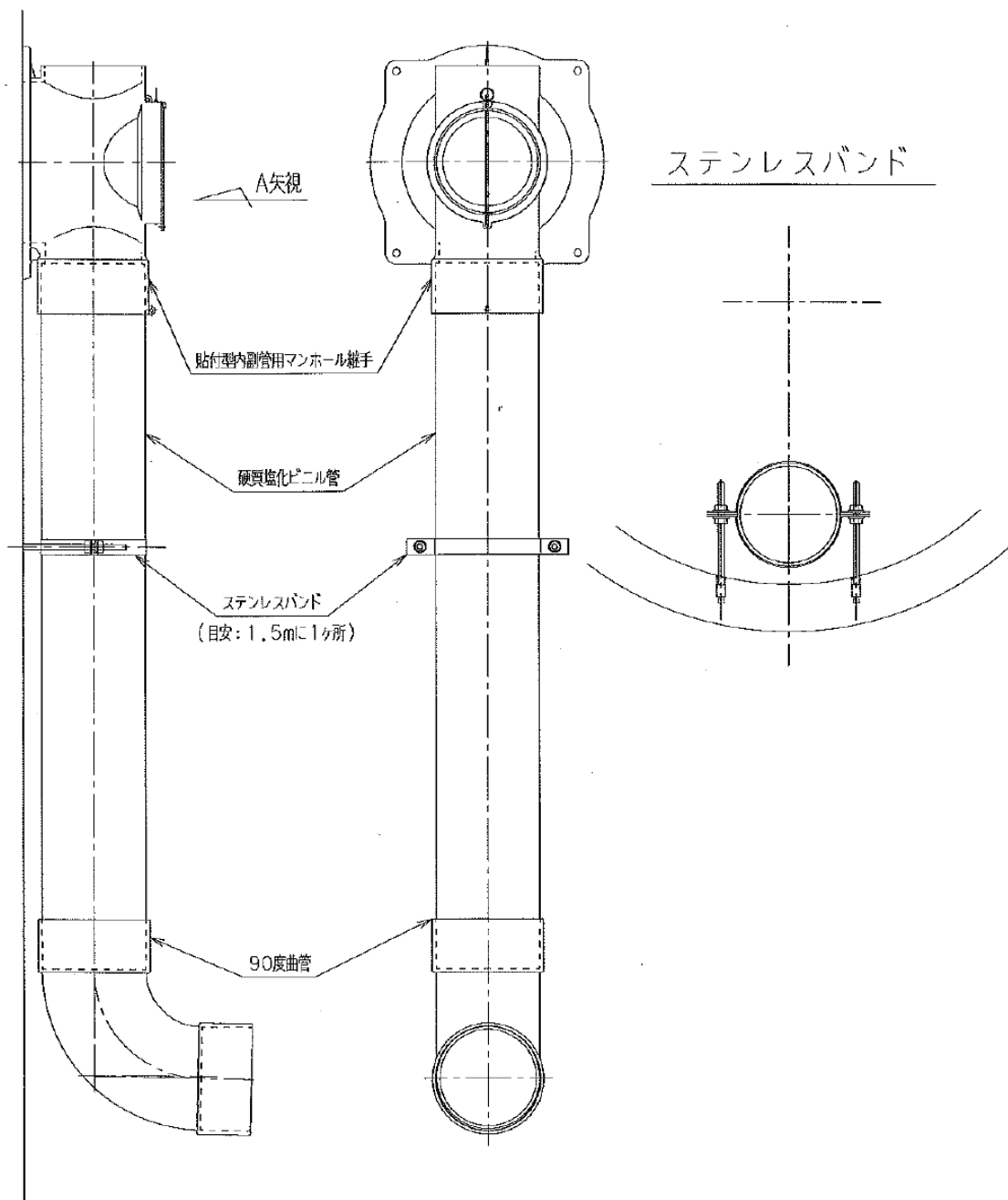
内副管取付標準構造図（本管径250、副管径200）



内副管取付標準構造図 (本管径 200、副管径 150)

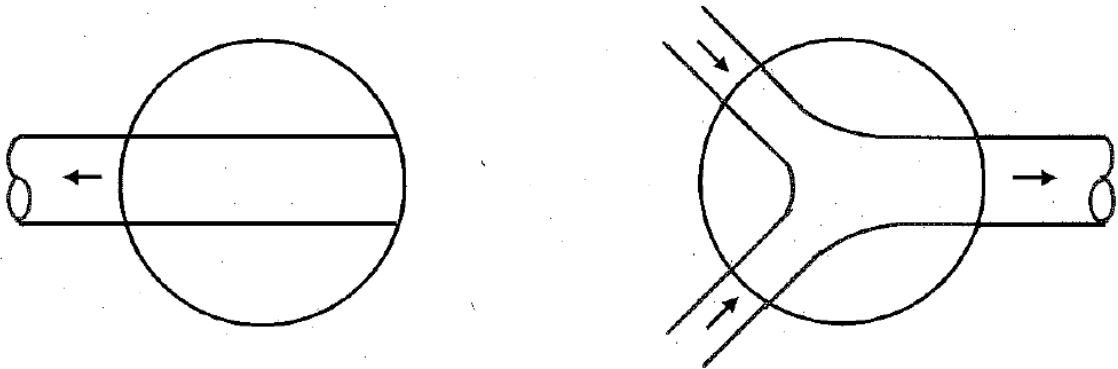
縦断面図

A 矢視図

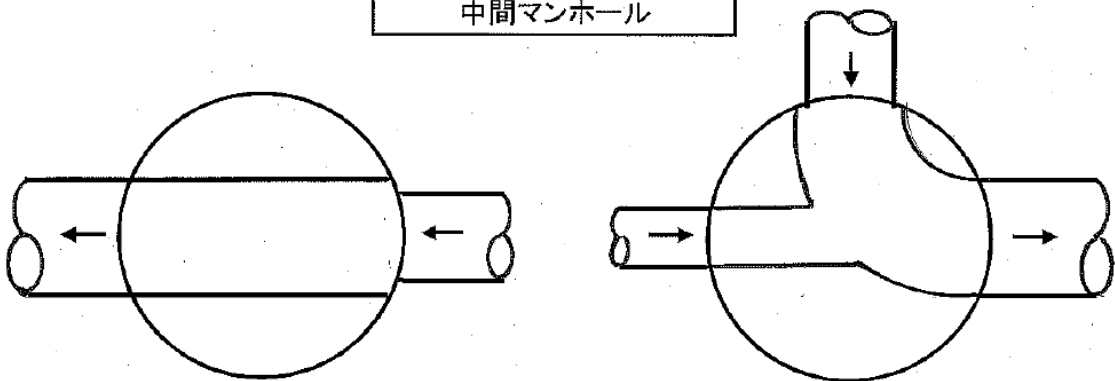


マンホールインバート標準施工図

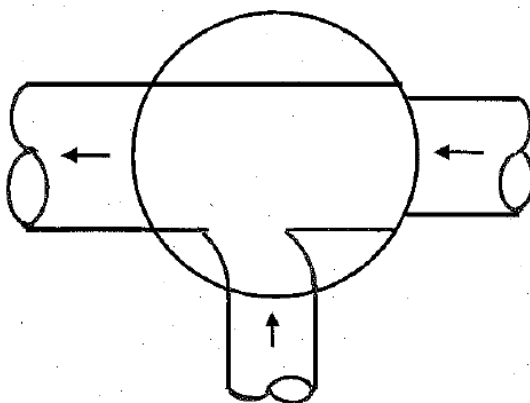
起点マンホール



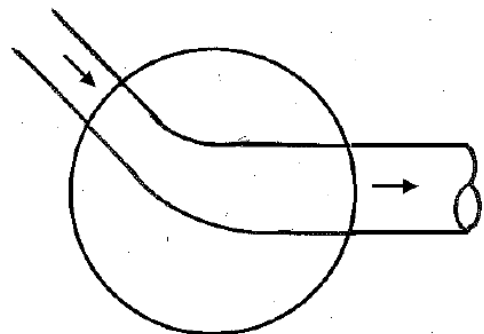
中間マンホール



会合マンホール



起点マンホール

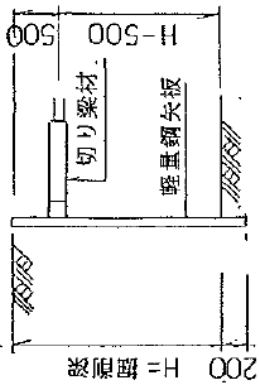


インバート施工注意点

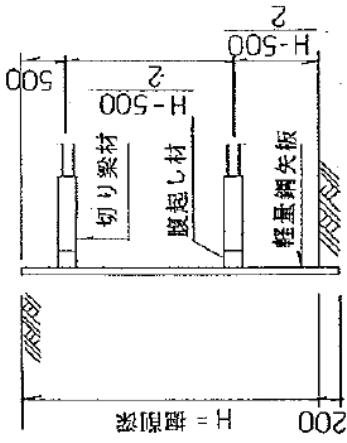
- ※ ラップ施工は起点マンホールの取付管のみ施工可
- ※ 中間マンホール等では、流量の大きい方に下流管径幅でのインバートを合わせる
足掛金物の設置位置
- ※ $\phi 400$ 以下は下流管上部、 $\phi 450$ 以上は下流に向かって左側
ただし、流入管がある場合は適宜の位置に設置する

山留工標準図

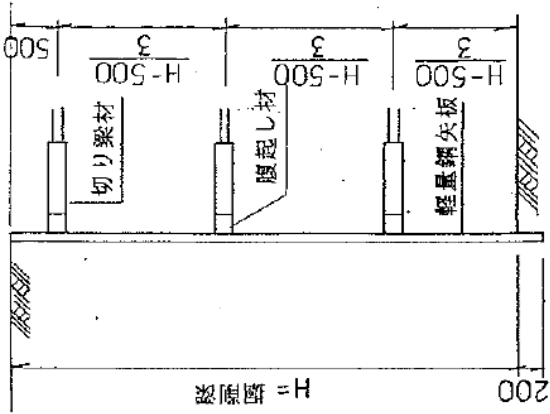
柵高1.7～2.2



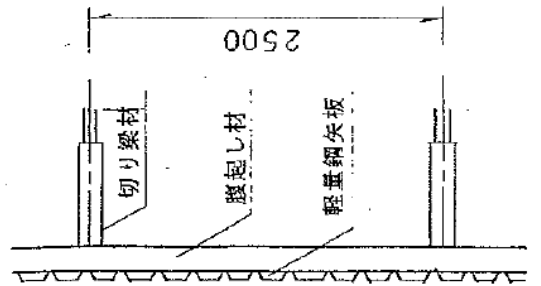
柵高2.3～3.7



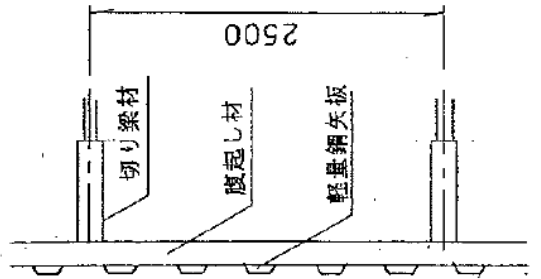
柵高3.8～



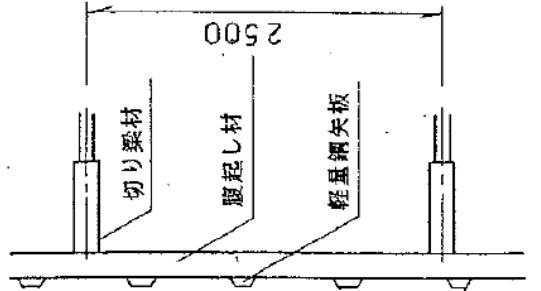
A 型



B 型



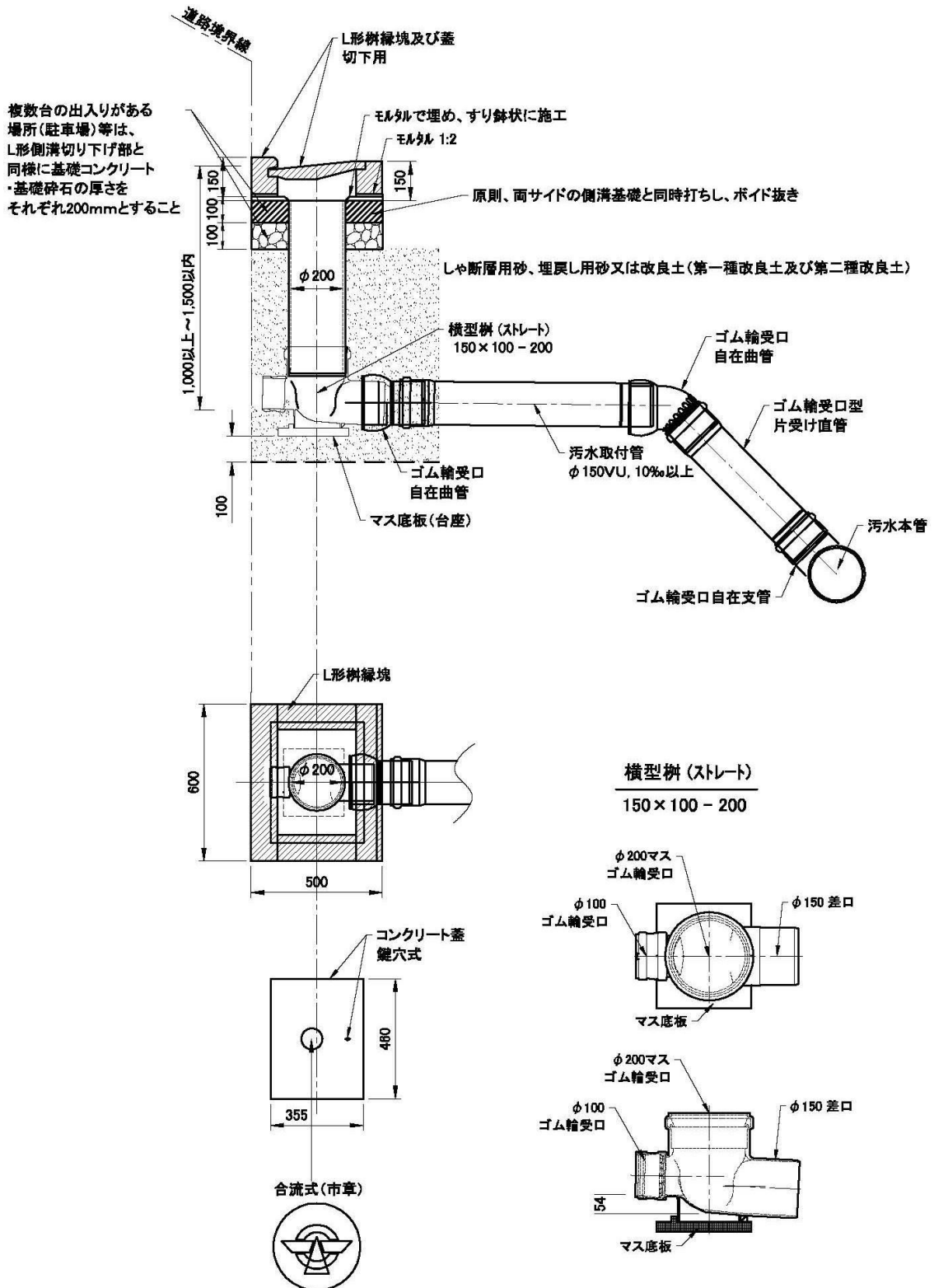
C 型



L形用公共汚水ます標準図 合流式(小口径ます用)

令和5年4月1日施工

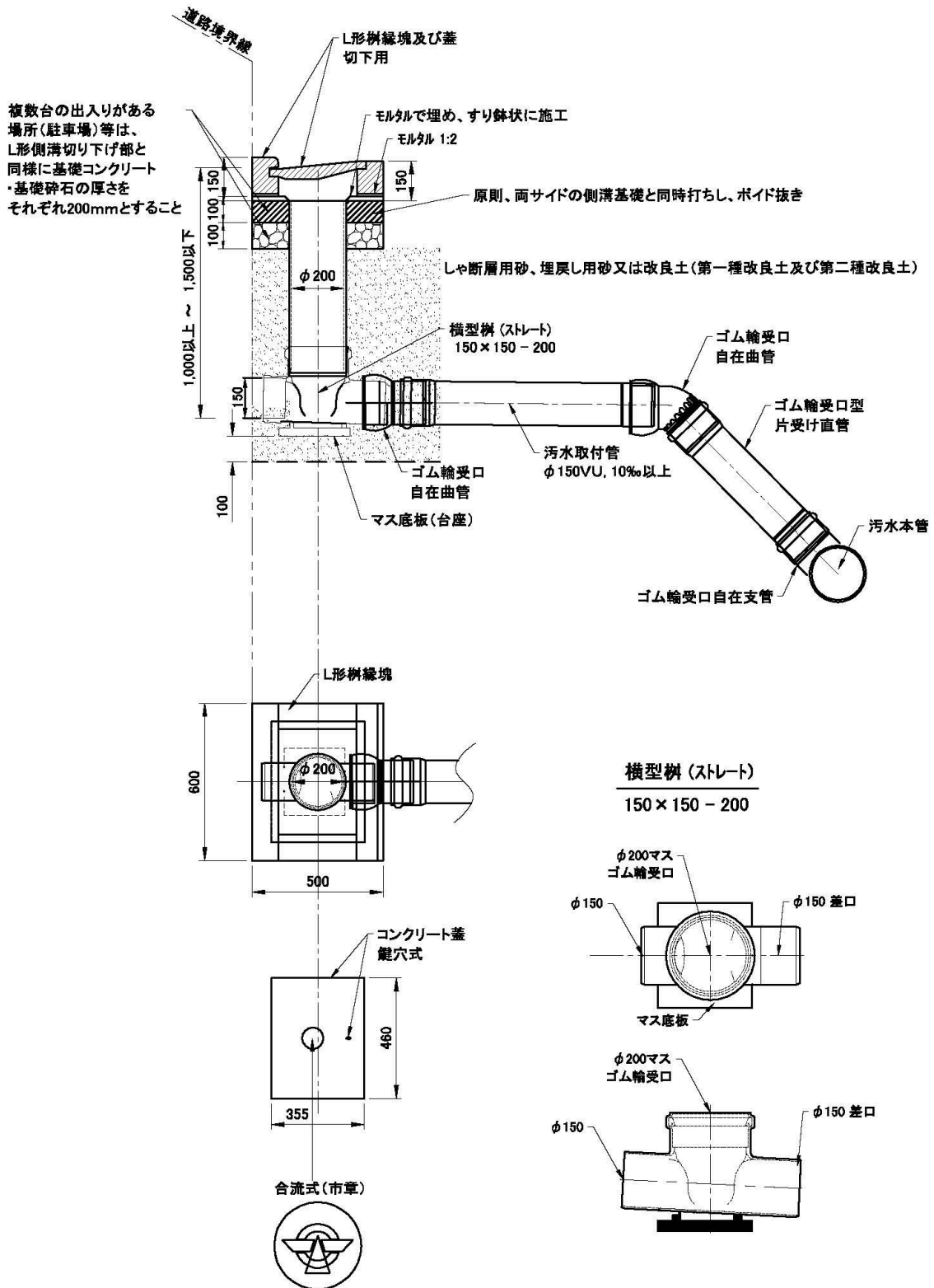
A4 : S=1/20



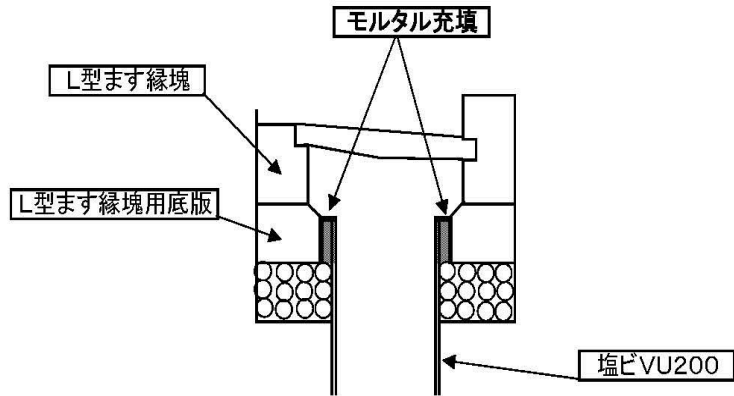
L形用公共污水ます標準図
合流式(小口径ます用)
【排水設備がφ150の場合】

令和5年4月1日施工

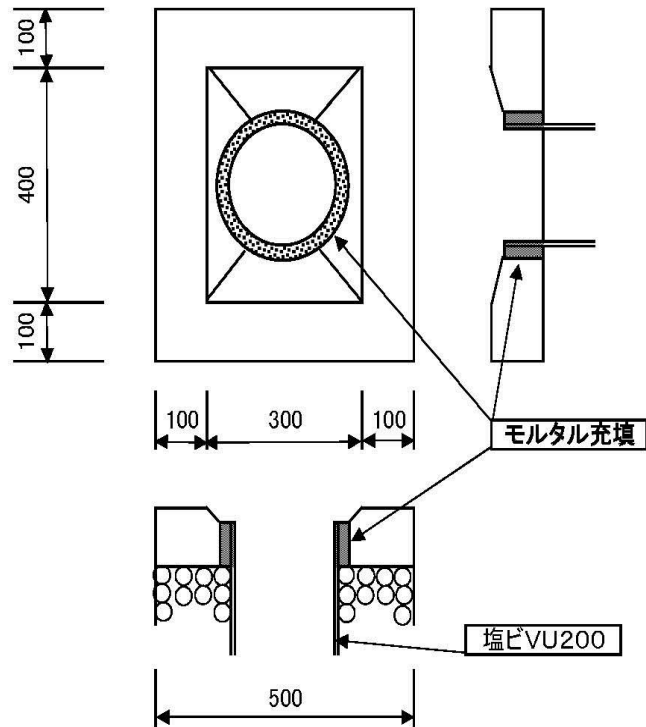
A4 : S=1/20



縁塊底版部仕上げ（合流用）



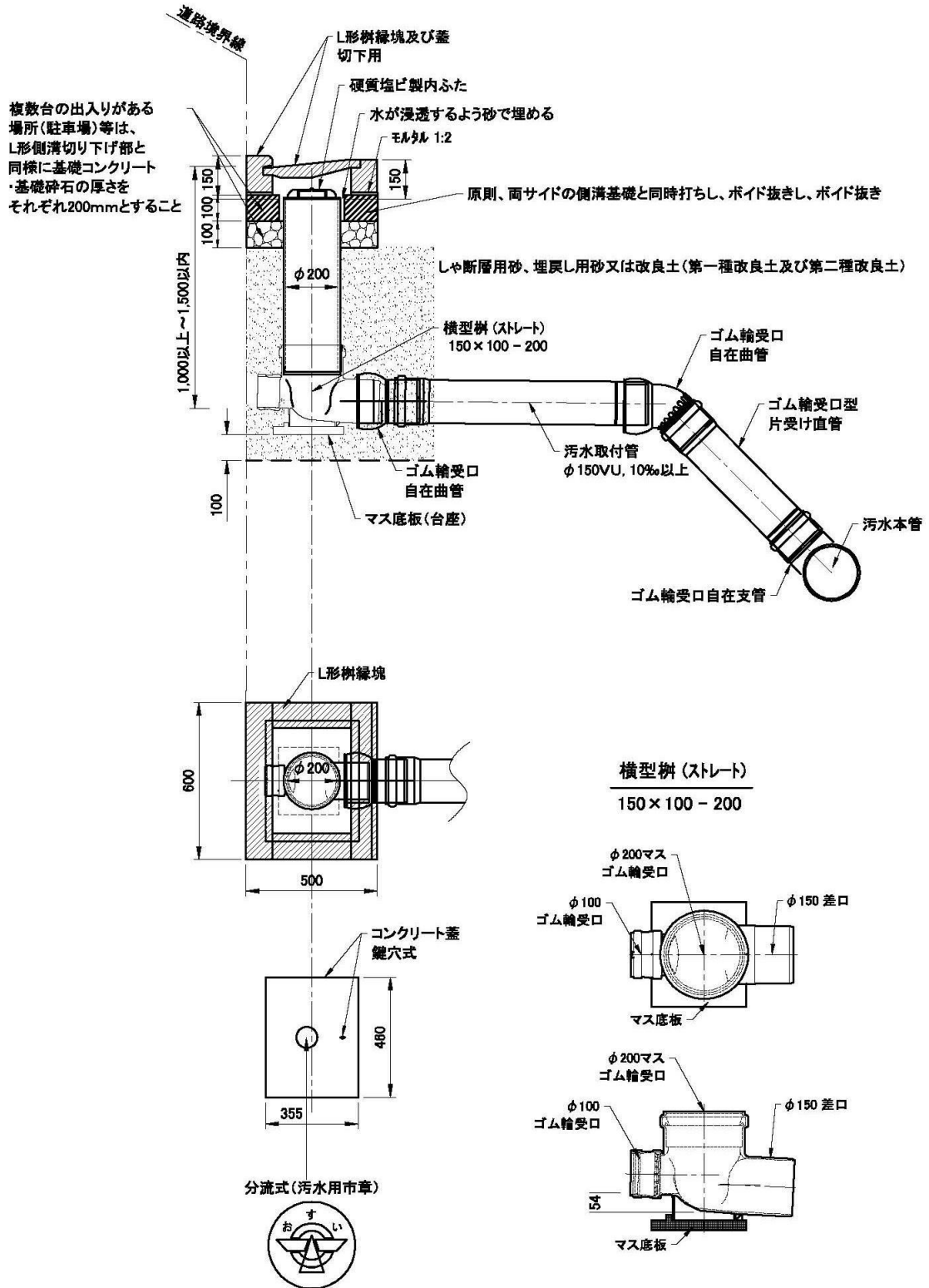
L形ます縁塊用底版



L形用公共汚水ます標準図 分流式(小口径ます用)

令和5年4月1日施工

A4 : S=1/20

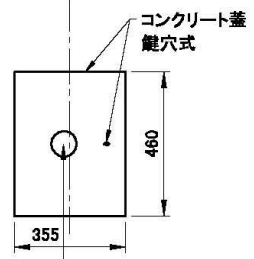
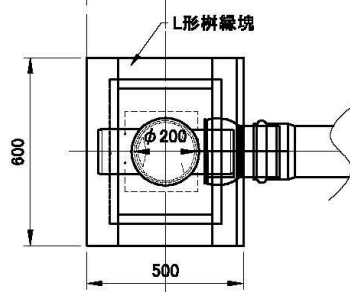
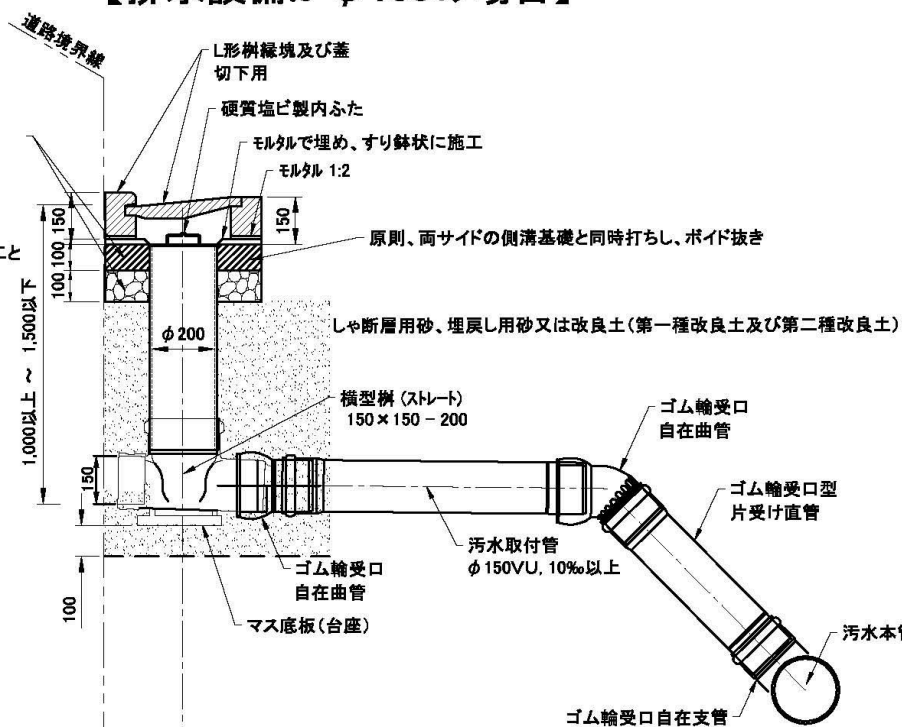


L形用公共汚水ます標準図
分流式(小口径ます用)
【排水設備がφ150の場合】

令和5年4月1日施工

A4 : S=1/20

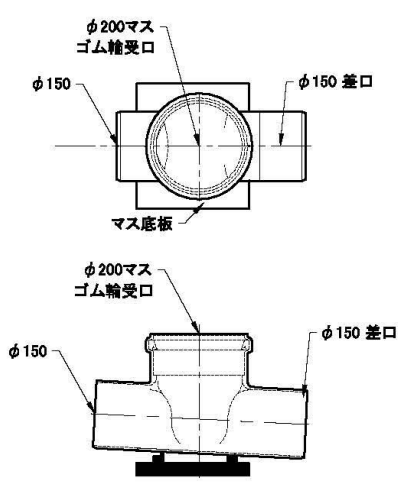
複数台の出入りがある場所(駐車場)等は、L形側溝切り下げ部と同様に基礎コンクリート・基礎碎石の厚さをそれぞれ200mmとすること



分流式(汚水用市草)



横型樹(ストレート)
150×150-200



L形用公共汚水ます標準図

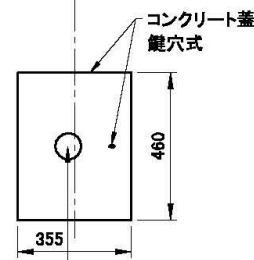
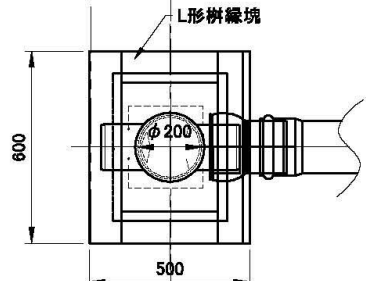
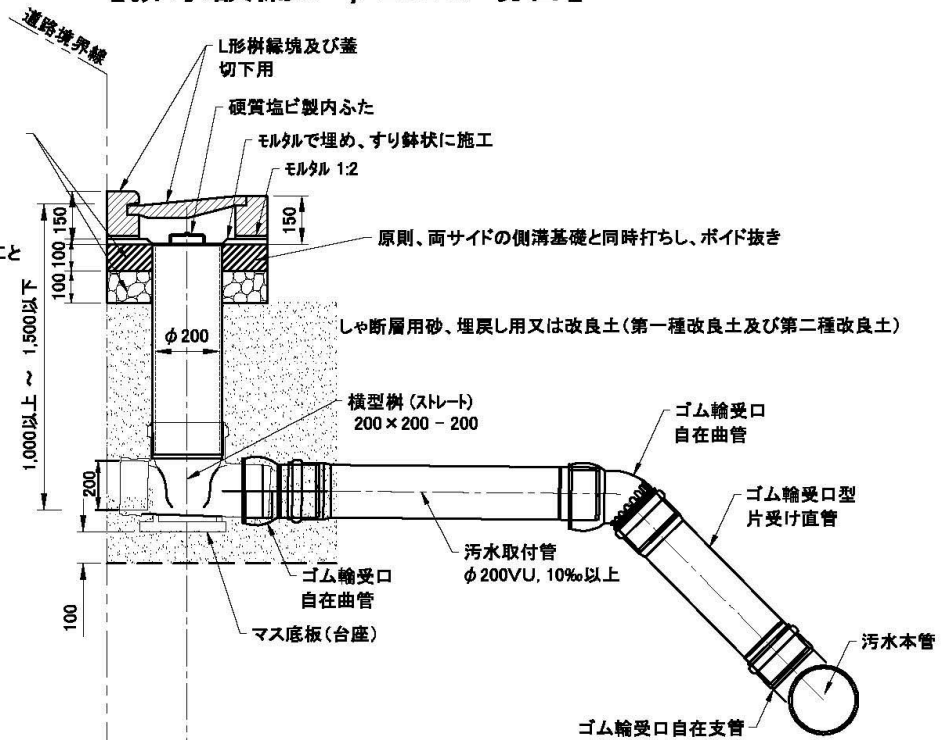
分流式(小口径ます用)

【排水設備がφ200の場合】

令和5年4月1日施工

A4 : S=1/20

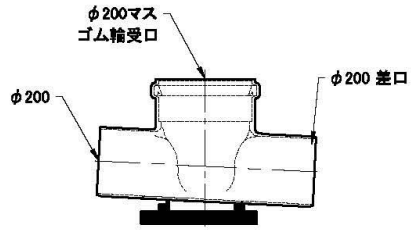
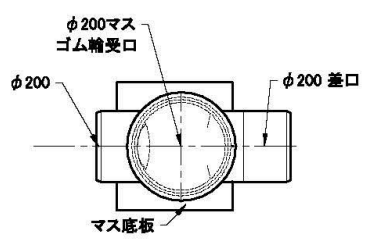
複数台の出入りがある場所(駐車場)等は、L形側溝切り下げ部と同様に基礎コンクリート・基礎碎石の厚さをそれぞれ200mmとすること



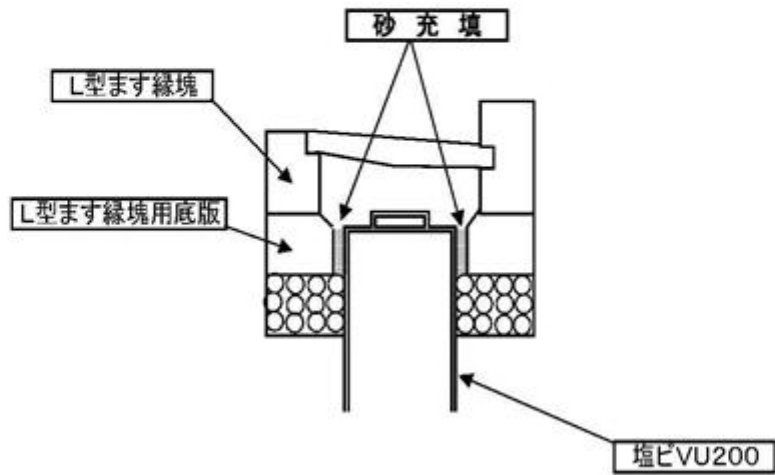
分流式(汚水用市章)



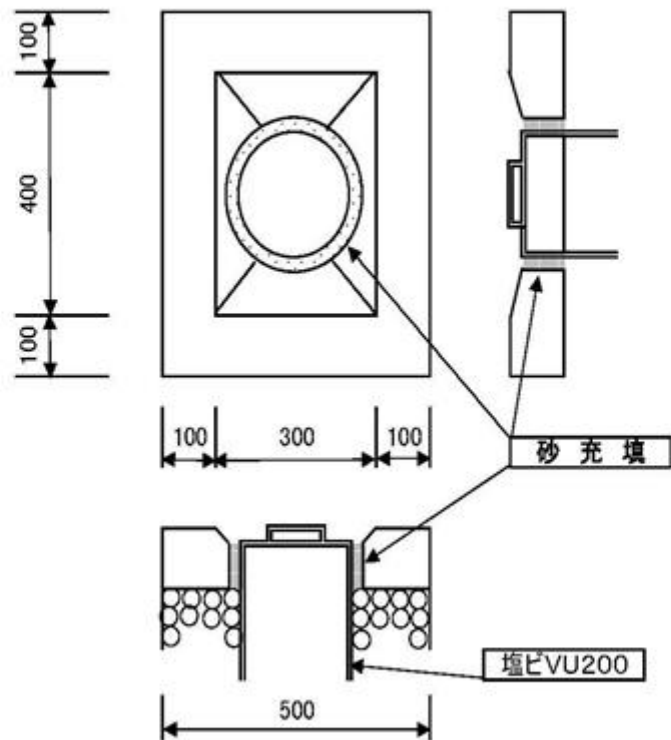
横型樹(ストレート) 200×200 - 200



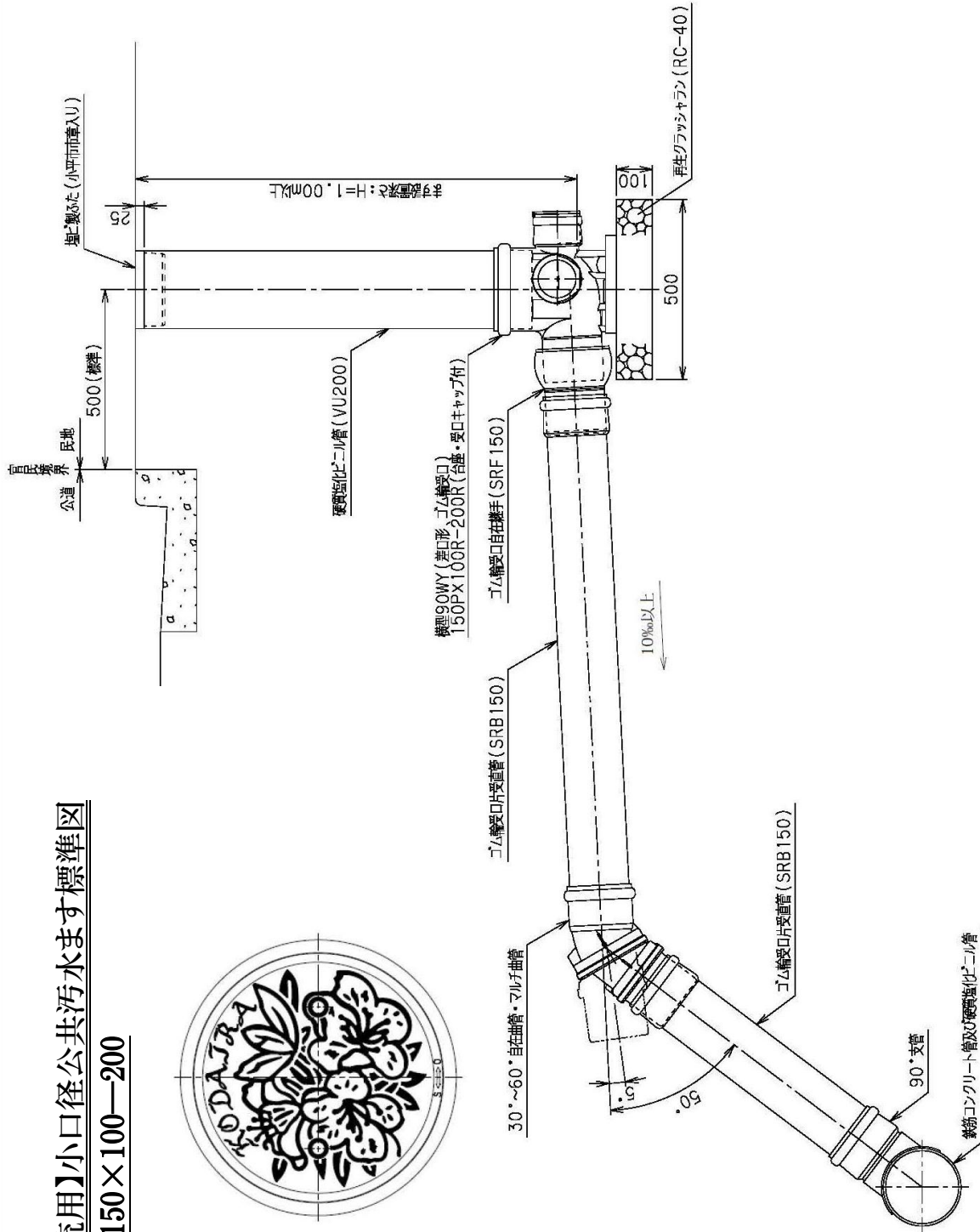
縁塊底版部仕上げ（分流用）



L形ます縁塊用底版

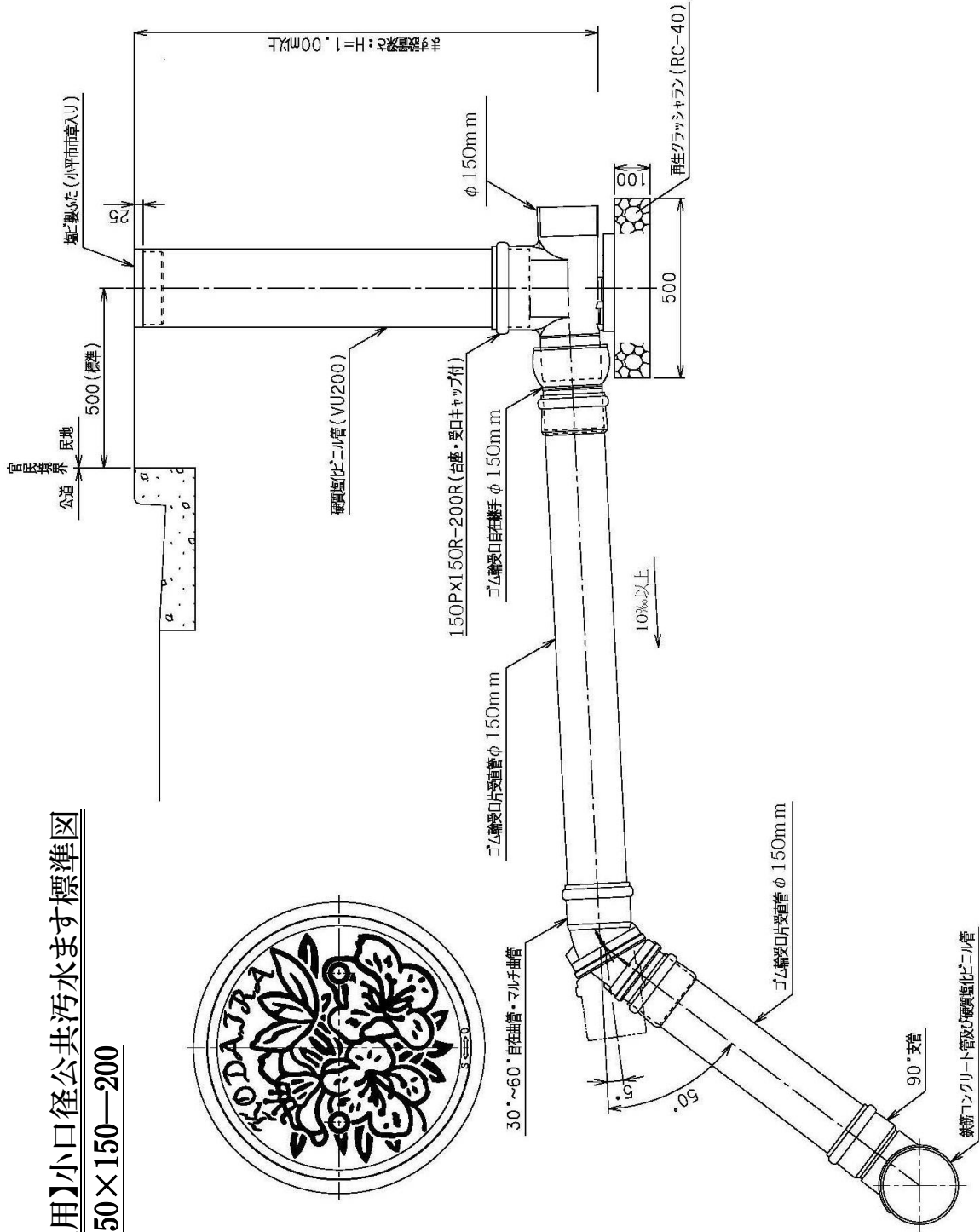


【合流用】小口径公共汚水ます標準図
150×100—200



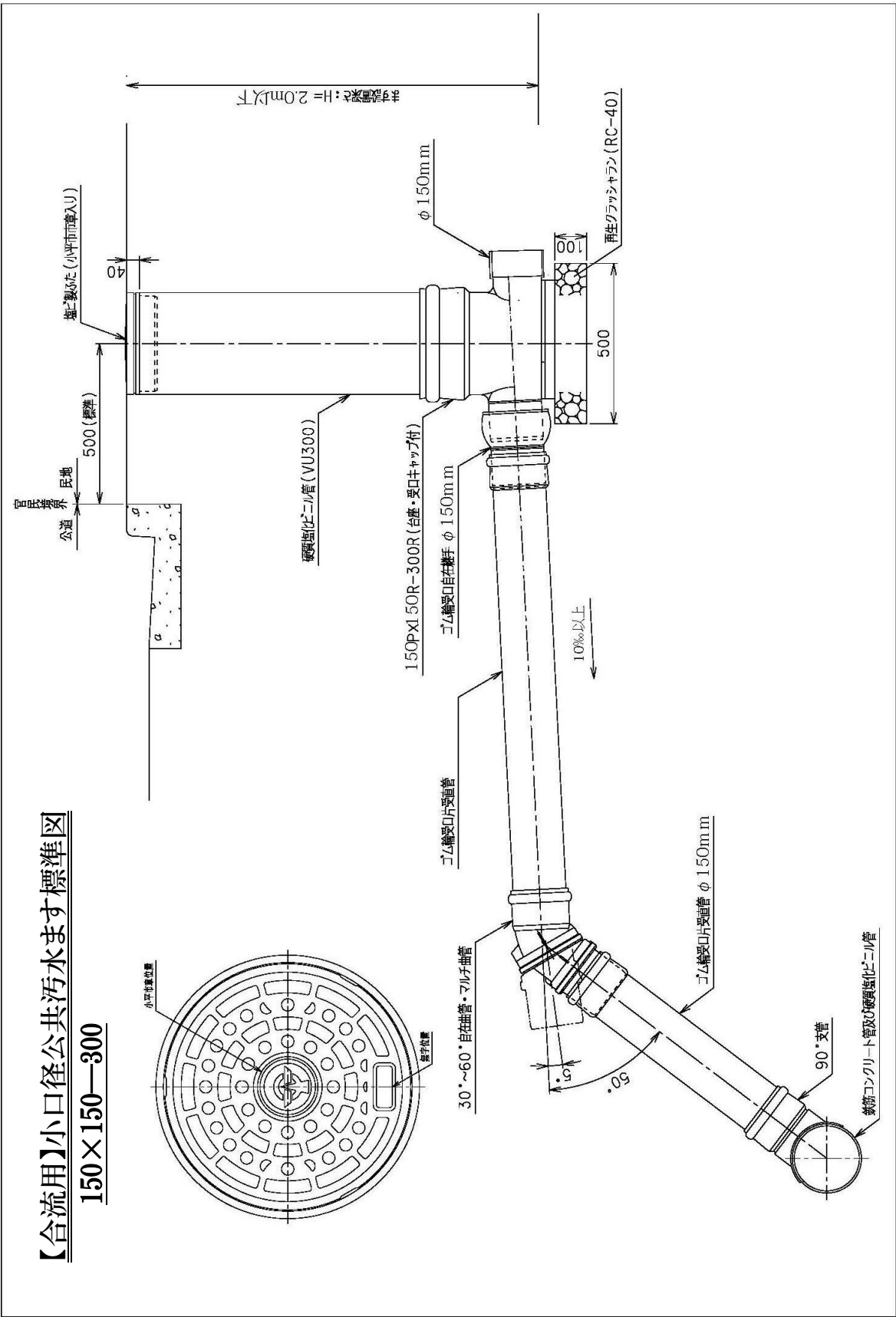
【合流用】小口径公共汚水ます標準図

150×150—200



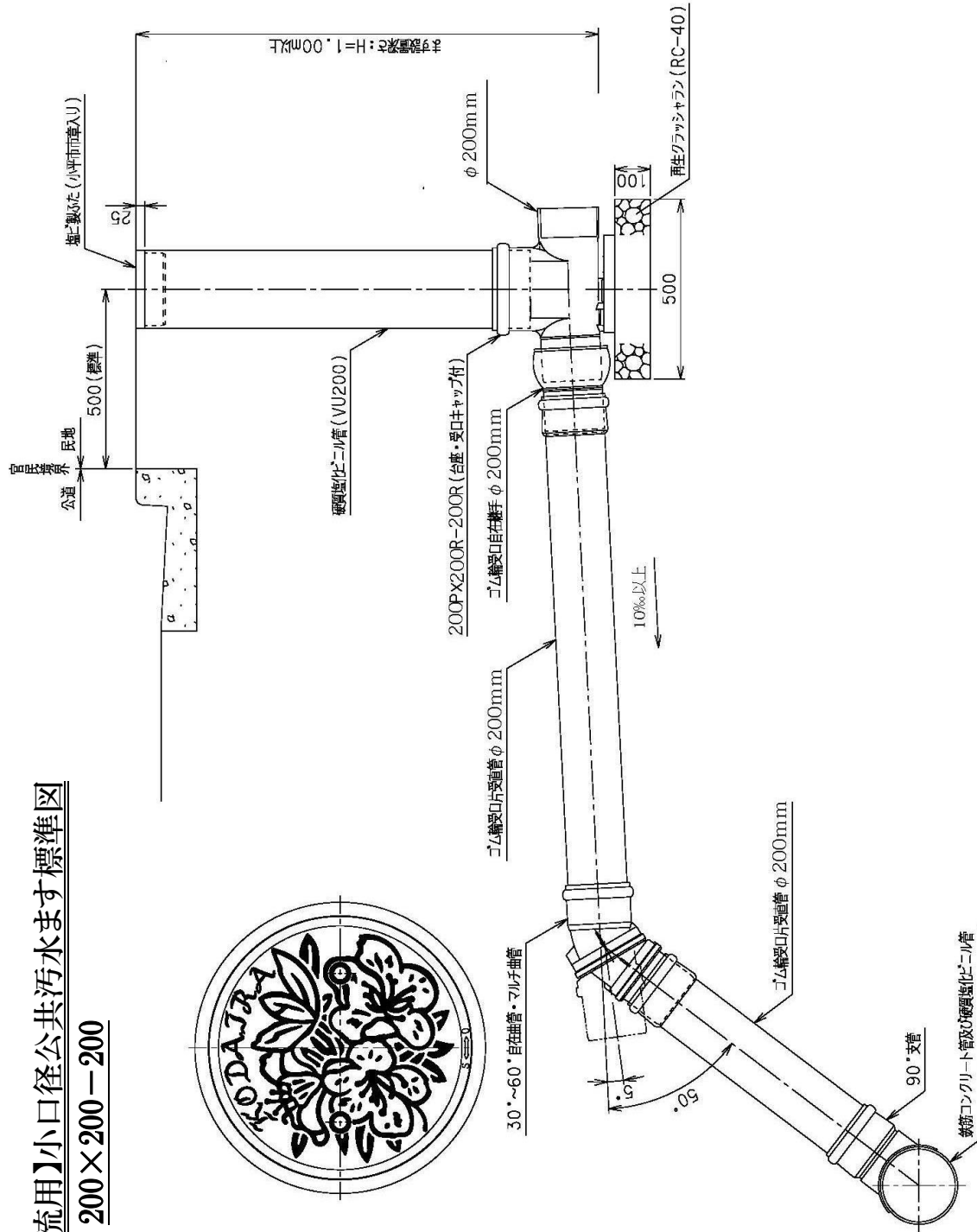
【合流用】小口径公共汚水ます標準図

150×150—300

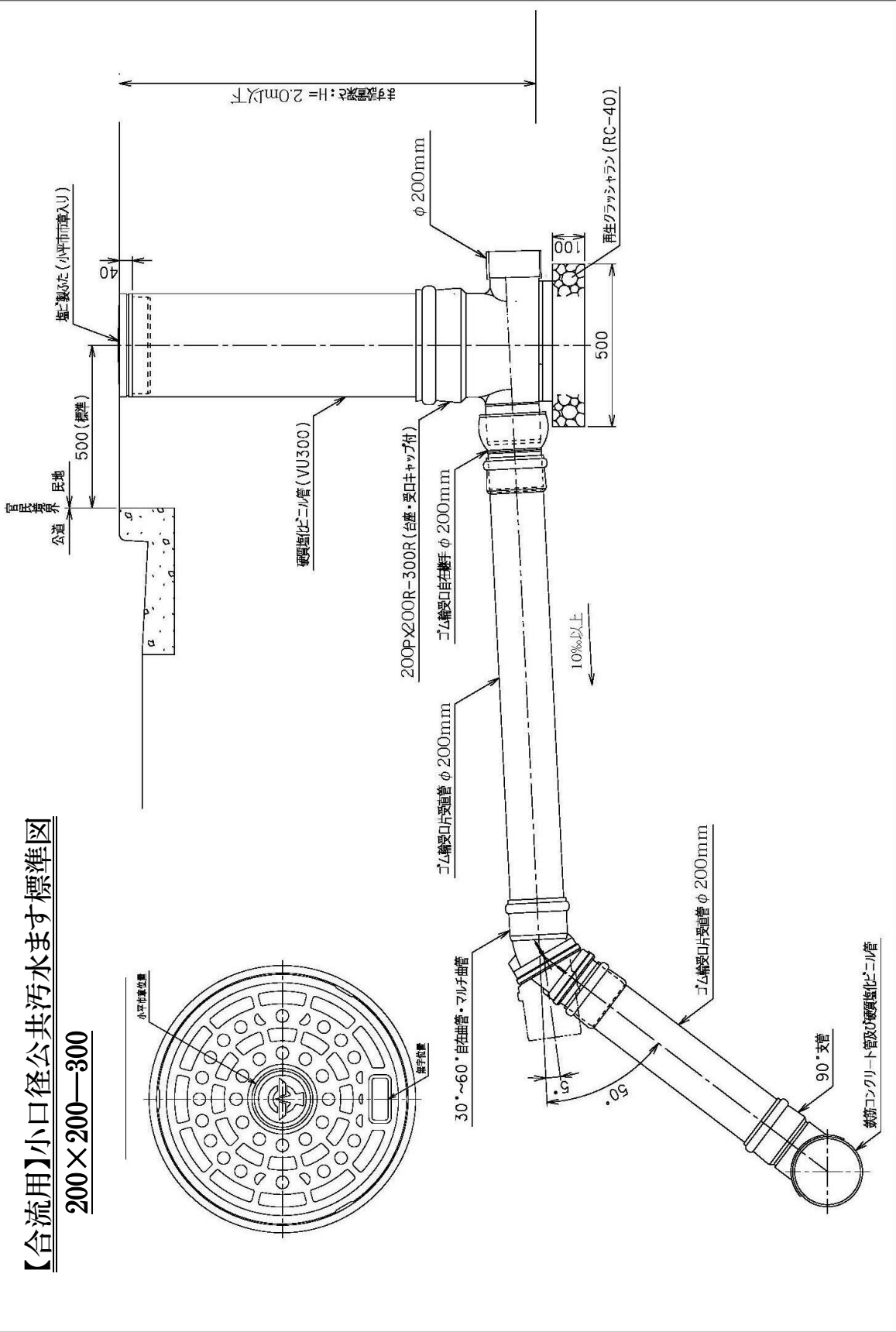


【合流用】小口径公共汚水ます標準図

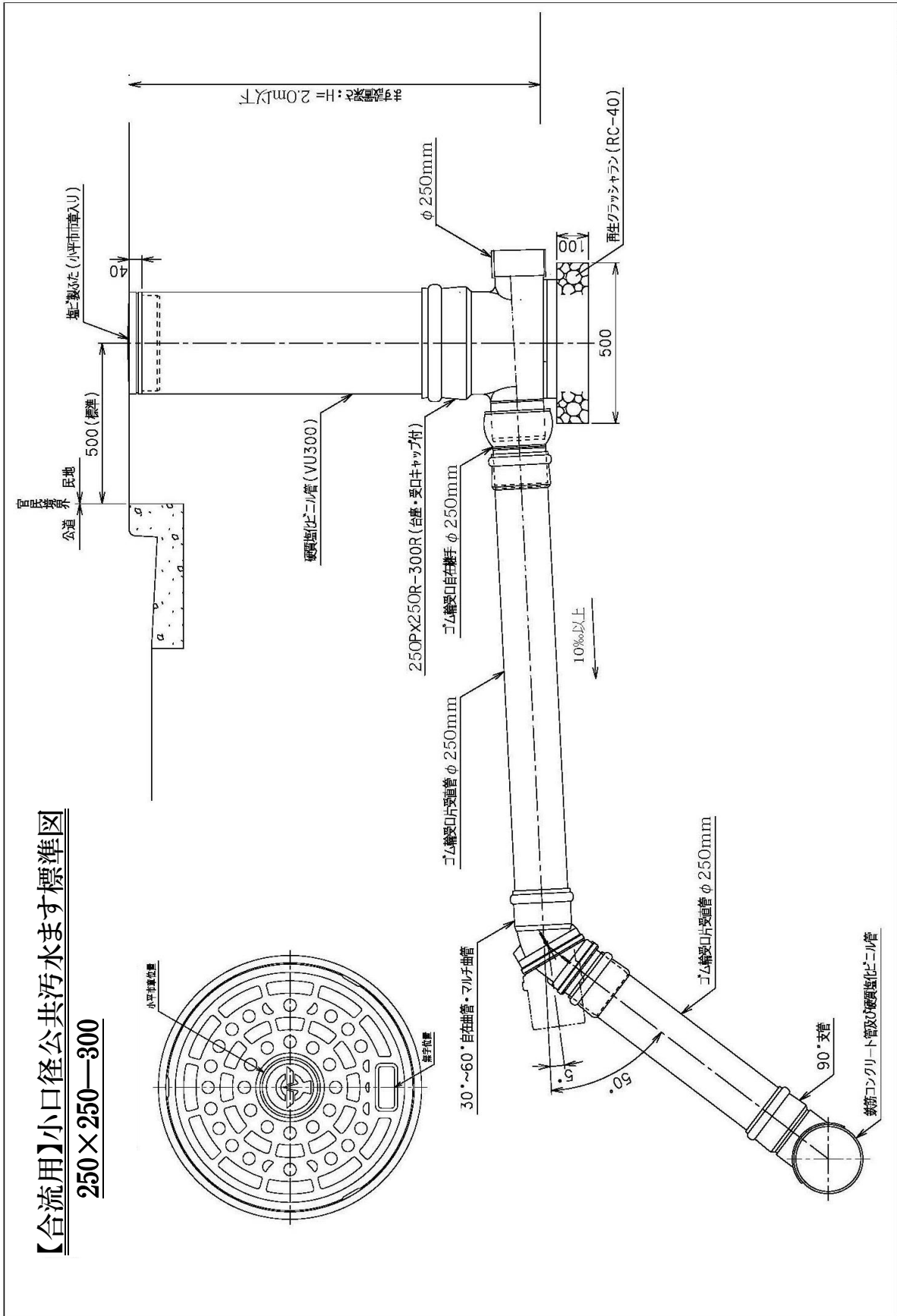
200×200—200



【合流用】小口径公共汚水ます標準図
200×200—300

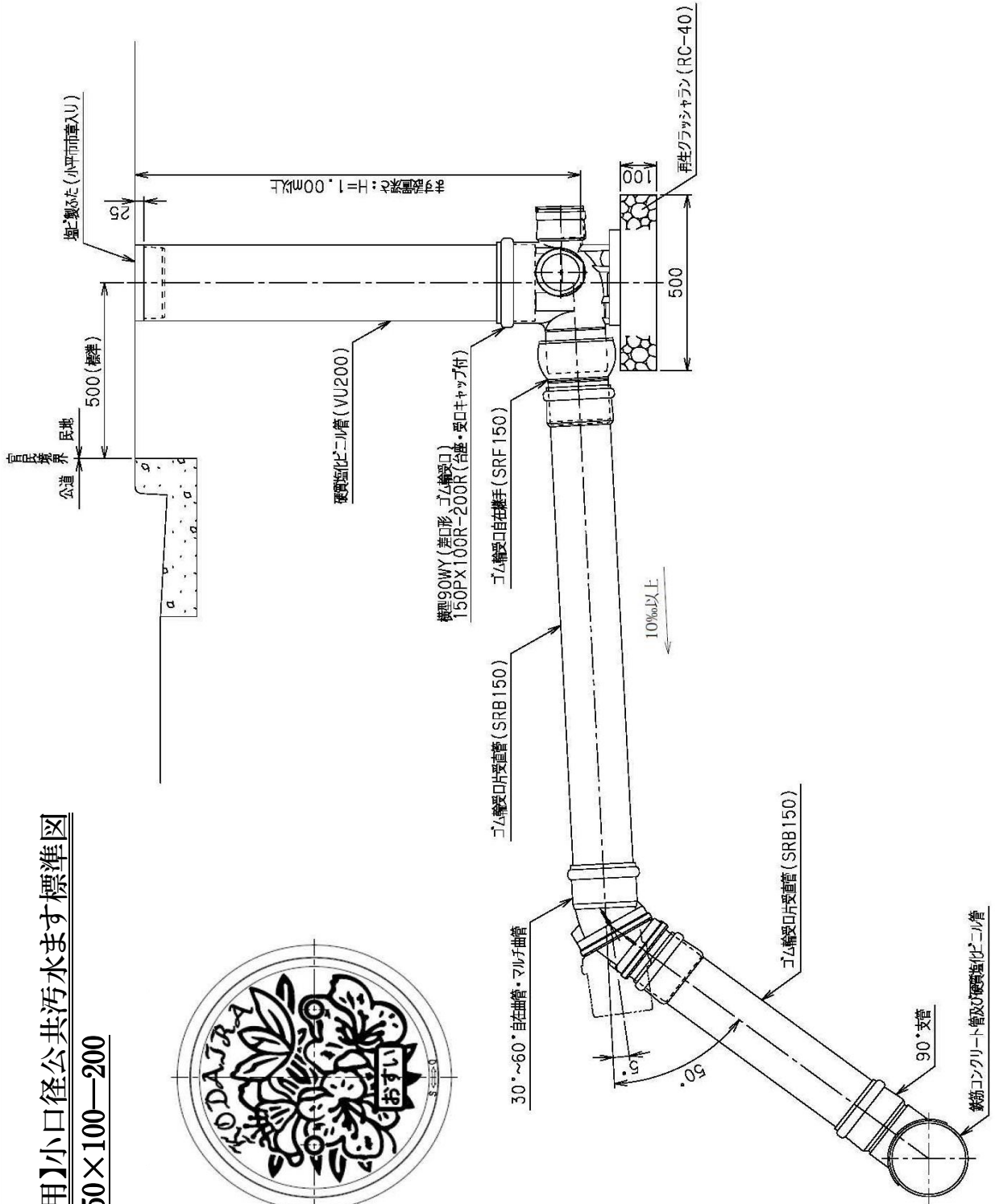


【合流用】小口径公共汚水ます標準図
250×250—300



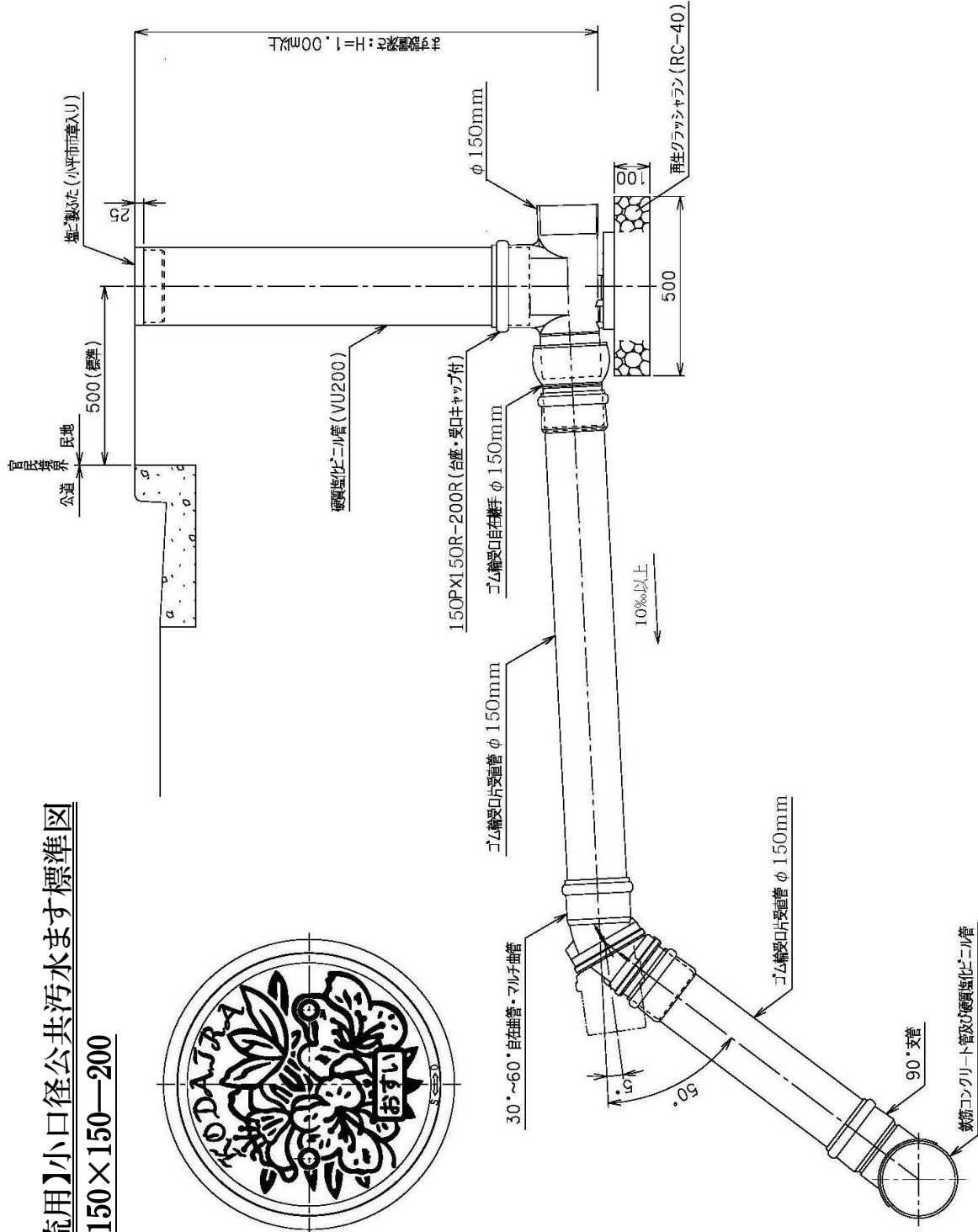
【分流用】小口径公共汚水ます標準図

150×100—200

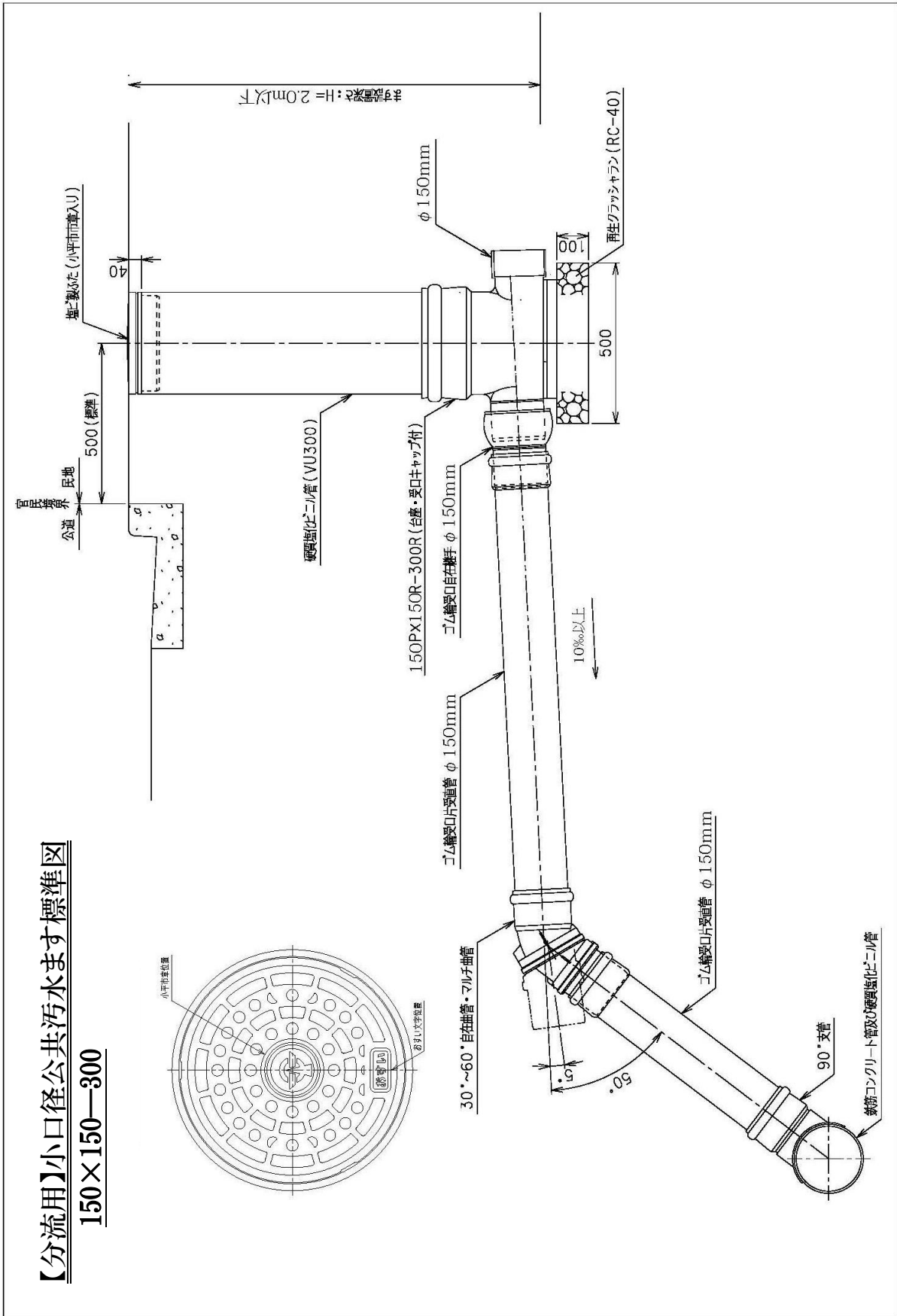


【分流用】小口径公共汚水ます標準図

150×150—200

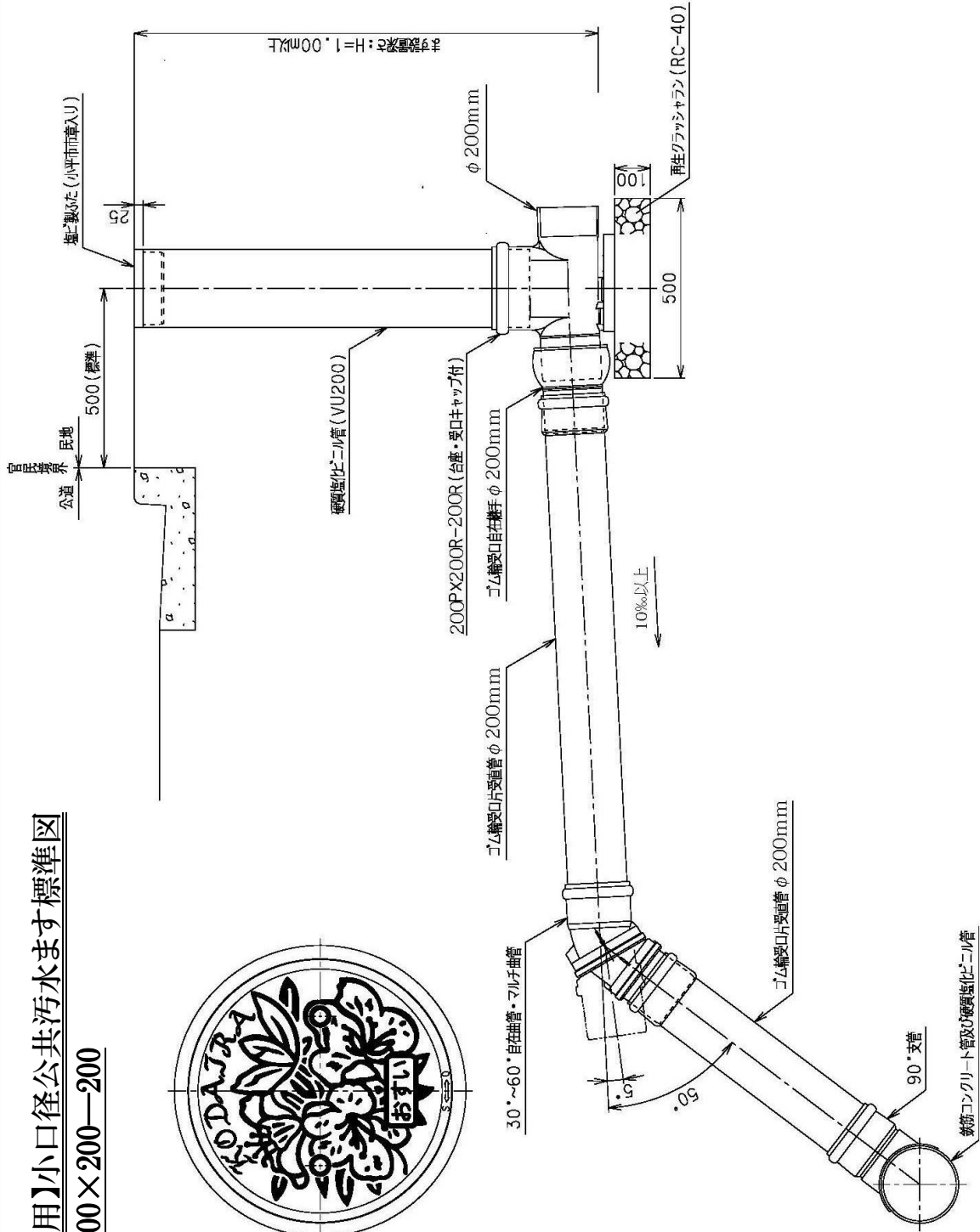


【分流通用】小口径公共汚水ます標準図
150×150—300

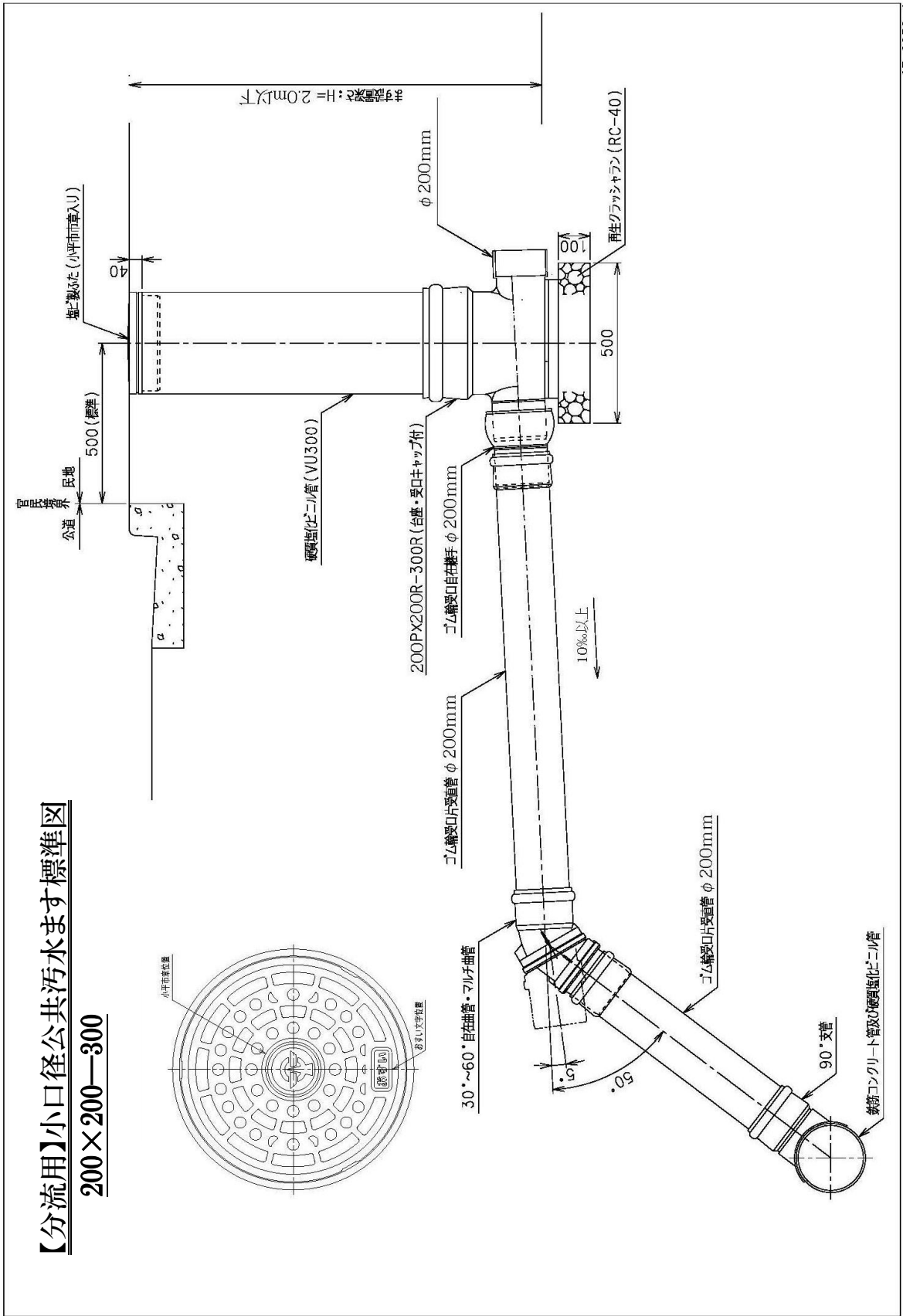


【分流通】小口径公共汚水ます標準図

200×200—200



【分流通】小口径公共汚水ます標準図
200×200—300

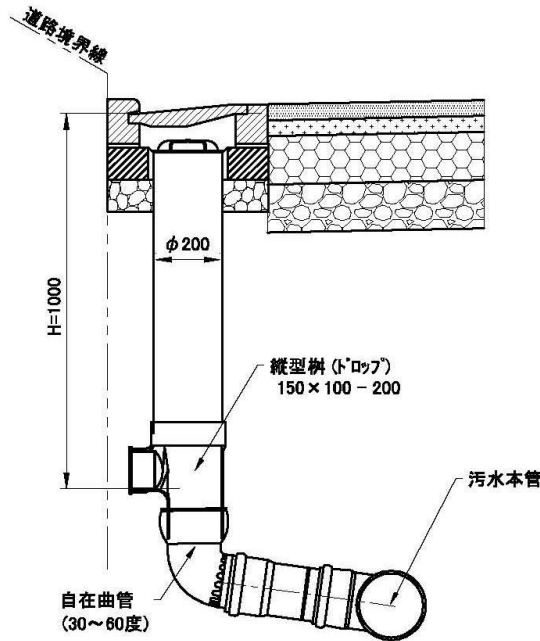


L形用公共污水ます（底部有孔）

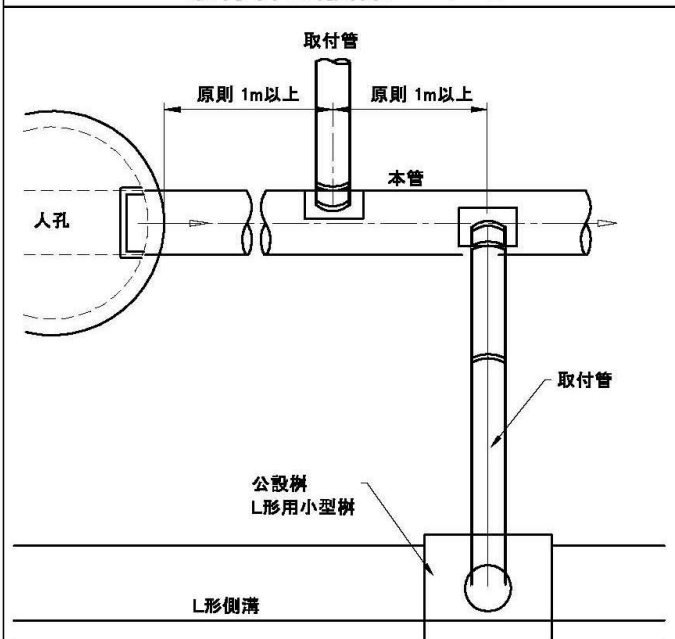
令和5年4月1日施工

A4 : S=1/20

縦型樹（ドロップ）

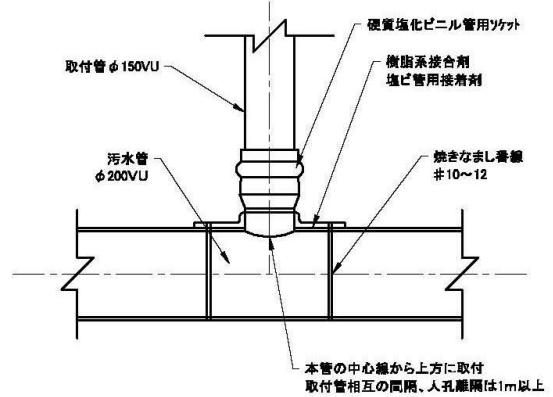


取付管の離隔について



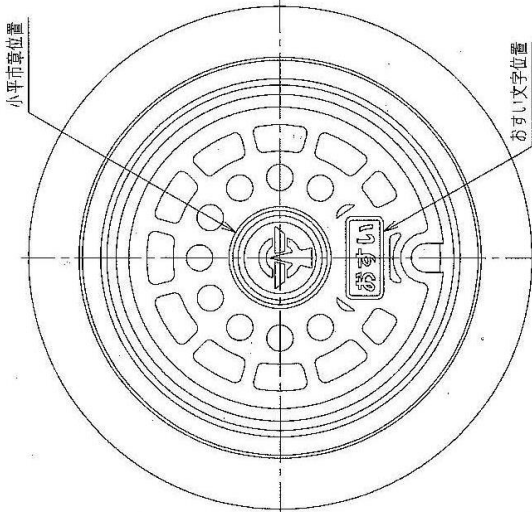
硬質塩化ビニル管支管標準取付図

本管が硬質塩化ビニル管の場合(取付角度90°)
※接続箇所に応じて80°支管にて施工。



標準図

小口径公共汚水ます用防護ふたφ200

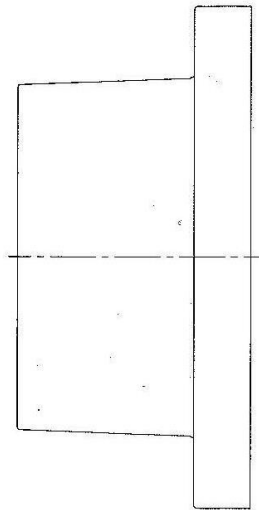
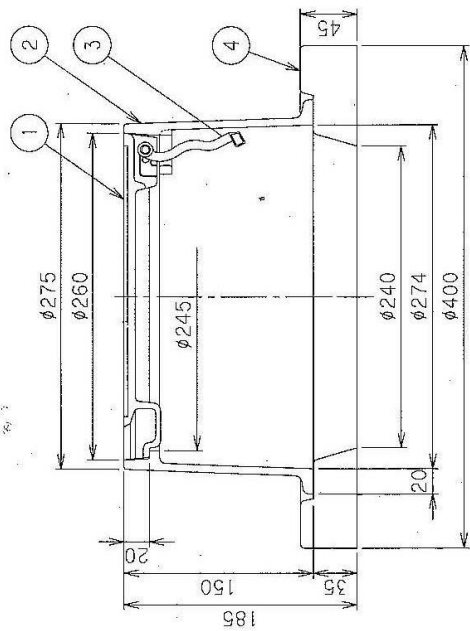


分流区域用

小口径公ます

ビニマス200用防護ふた

合流区域用は「おすい」
の文字表示は無い仕様



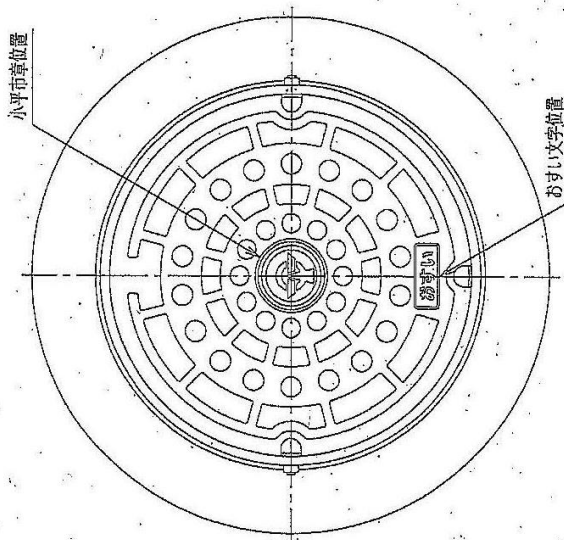
県名	東京都
型式 (略号)	BH-T8A200B 小平市 おすい
図番	E-38387-355

T-8・T-14・T-25

下水道課と協議し選定した仕様に○を記載

標準図

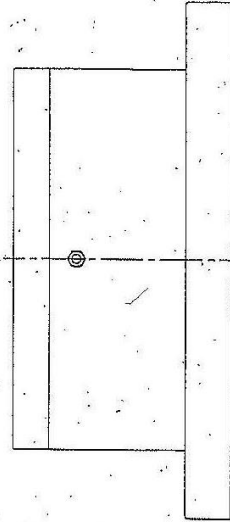
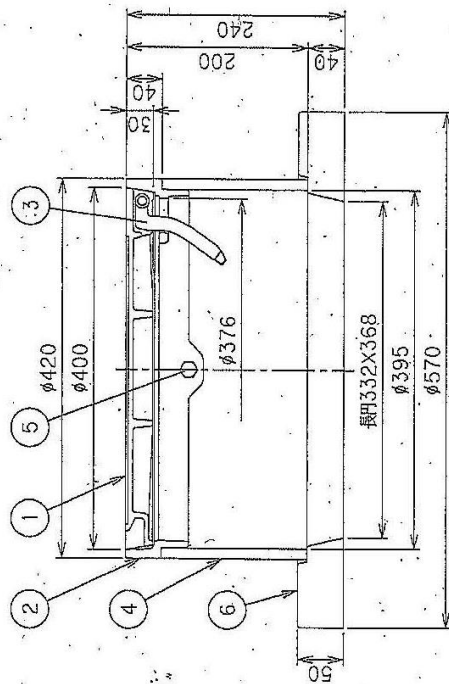
小口径公共汚水ます用防護ふたφ300



小口径公ます 分流区域用

ビニマス300用防護ふた

合流区域用は「おすい」
の文字表示は無い仕様



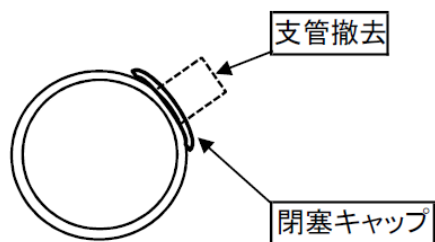
県名	東京都
型式 (番号)	BH-T8B300B 小平市 おすい
図番	E-38273-290

T-8・T-14・T-25

下水道課と協議し選定した仕様に○を記載

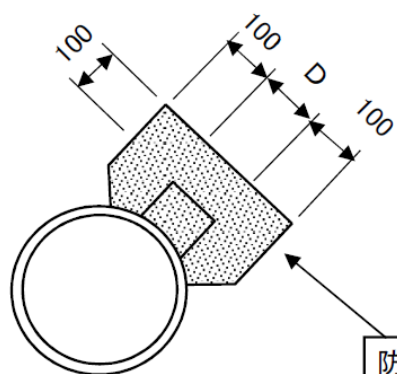
取付管撤去閉塞標準施工図

本管がHPの場合



①原則として、HP本管から支管を外し閉塞キャップにて穿孔穴を閉塞し、アンカーボルトもしくは焼きなまし番線で固定する。

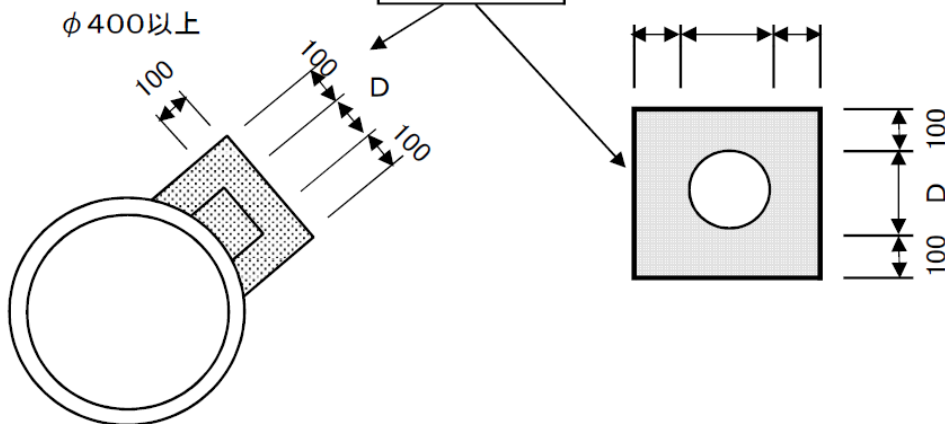
φ 350以下



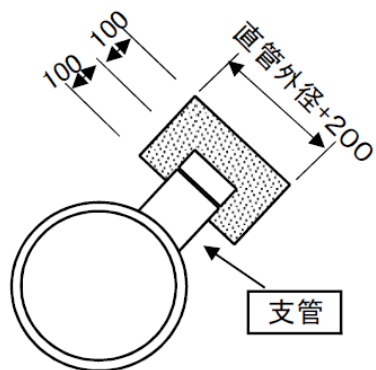
②やむを得ない理由があり、支管を外せない場合は、陶管用キャップを設置し防護モルタルを施工する(支管が陶管の場合)。

③やむを得ない理由があり、支管を外せない場合は、塩ビ管の蓋を設置し防護モルタルを施工する(支管がVU管の場合)。

φ 400以上



本管がVUの場合



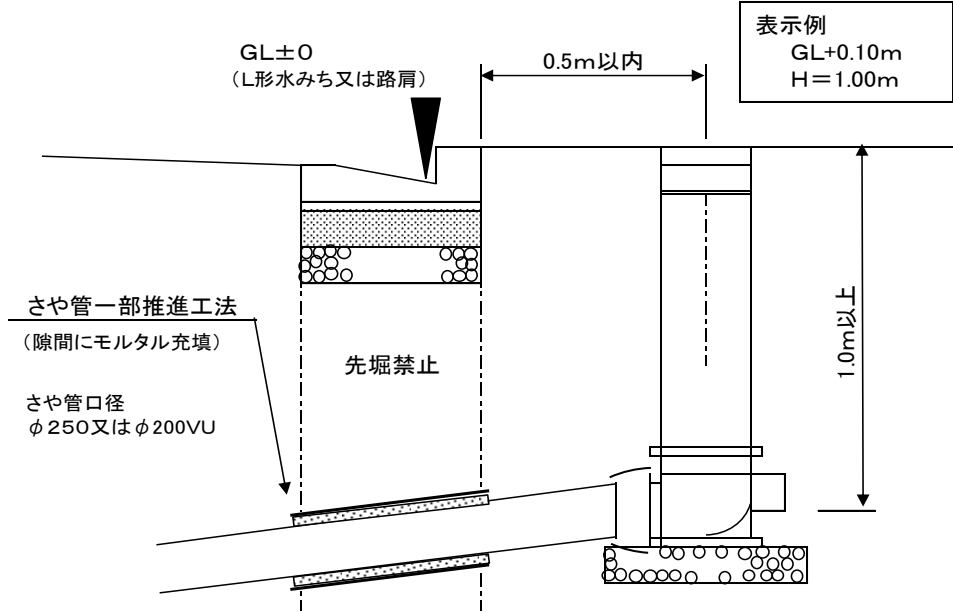
既設支管が外れないため、直管を15cm以内の位置で切断し塩ビ管の蓋を設置し防護モルタルを施工する。

注意事項

いずれの場合においても、施工内容の詳細が分かるよう、施工前、施工中、施工後等の写真を必ず撮影し提出すること。

取付管の構造物下越し標準施工図

宅地内に公ますを設置する際に取付管が構造物を横断する場合は、さや管を使用した一部推進工法で施工すること



埋め戻し転圧要領

(例・車道舗装40型)

